

第三次みやき町総合計画  
令和6年度進捗・評価報告書

令和8年3月  
みやき町総務課

第1	第三次みやき町総合計画の概要.....	2
第2	計画の進捗管理.....	4
第3	進捗・評価.....	7
1	町民アンケート結果の概要.....	7
2	成果指標の達成状況の概要.....	9
3	基本施策の評価の概要.....	10
4	施策分野ごとの評価の概要.....	11
5	基本目標ごとの評価の概要.....	12
	基本目標1 安全・安心に暮らせるまち.....	12
	(1) 防災・減災.....	13
	(2) くらしの安全・安心.....	15
	基本目標2 楽しい子育て・あふれる人財のまち.....	17
	(1) 子育て.....	18
	(2) 教育.....	21
	(3) 青少年健全育成.....	24
	基本目標3 健幸長寿のまち.....	26
	(1) 健康.....	27
	(2) スポーツ.....	31
	(3) 地域福祉.....	33
	(4) 高齢者福祉.....	35
	(5) 障がい者福祉.....	37
	(6) 医療.....	39
	基本目標4 暮らしを支える産業が伸びゆくまち.....	40
	(1) 農業.....	41
	(2) 商工業.....	43
	(3) 観光.....	45
	基本目標5 心豊かで多様性のあるまち.....	47
	(1) 文化芸術・歴史伝統.....	48
	(2) 生涯学習.....	50
	(3) 人権・共生.....	51
	(4) 多文化共生・国際交流.....	53
	基本目標6 活力にあふれた多様な交流がうまれるまち.....	54
	(1) コミュニティ・住民参画.....	55
	(2) 土地利用・住環境.....	57
	(3) 公共交通.....	59
	(4) 環境衛生.....	60
	(5) 上下水道.....	62
	基本目標7 計画推進のために.....	64
	(1) 総合行政.....	65
	(2) DX (デジタル・トランスフォーメーション).....	67

# 第1 第三次みやき町総合計画の概要

## 1 基本理念

### 【未来に躍動する「共感」「協働」のまち】

住民の「笑顔」、人と人がつながる「優しさ」、それを活かす「創造」。この3つの視点から、未来の「まち」をつくっていきます。

すべての人が個性と能力を発揮することができる「地域共生社会」、次の世代に託すことのできる「明るい社会」を実現するためには、行政だけではなく、住民一人ひとりが地域に役割と責任を持ち、協働して地域課題の解決に向けて取り組む必要があります。

子どもから高齢者まで、安心して生活でき、活力や賑わいを実感できるまちづくりを進めるため、みやき町は、一人ひとりの多様性を受けとめ、人と人、人と地域がつながる「共感」を育むとともに、行政と住民、団体、事業者等の「協働」により、未来志向で魅力あふれるまちを目指します。

## 2 計画の期間

第三次計画は、基本構想及び実行計画の2層構成とし、基本構想は、令和4（2022）年度～令和14（2033）年度の11年間を計画期間とする。

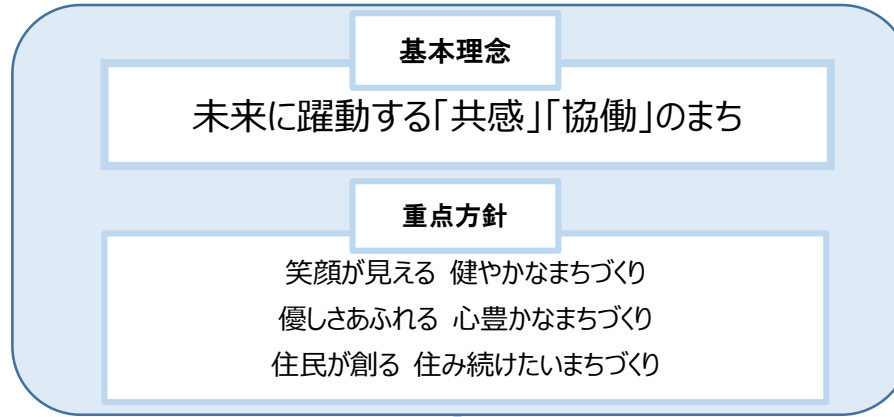
実行計画は、基本構想を具現化するための中期的な事業計画であり、基本構想の計画期間を前期、中期、後期の3つに区分し、前期は令和6（2024）年度、中期は令和10（2028）年度に数値目標や取り組み内容の検証と見直しを行い、後期の令和14（2032）年度に第三次計画の総括を行う。

### ■基本構想・実行計画の期間（単位：年度）

	令和4 (2022)年	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年	令和10 (2028)年	令和11 (2029)年	令和12 (2030)年	令和13 (2031)年	令和14 (2032)年
基本構想	計画期間										総括
実行計画	前期		見直し	中期			見直し	後期			総括

令和6年度前期見直し済み

### 3 計画の構成



#### 基本目標

**1 安全・安心に暮らせるまち**  
**(1)防災・減災**  
1. 防災体制の充実  
2. 災害時の初動対応体制の整備  
3. 減災に向けた対策の推進  
4. 消防体制の充実  
**(2)くらしの安全・安心**  
1. 地域における安全対策の充実  
2. 消費者保護対策の推進  
3. 交通安全対策の推進

**2 楽しい子育て・あふれる人財のまち**  
**(1)子育て**  
1. 子育て環境の整備  
2. 育児支援体制の充実  
3. 乳幼児保育の充実  
4. ひとり親家庭等への支援  
5. 虐待防止対策の強化  
**(2)教育**  
1. 生きる力を伸ばす教育の推進  
2. 幼児教育の充実  
3. 子どもが学びやすい教育環境の整備  
4. 教育施設の整備と充実  
5. 地域に開かれた学校づくり  
6. 特別支援教育の充実  
7. 世界に飛躍できる人を育む国際化教育の充実  
**(3)青少年健全育成**  
1. 青少年健全育成の推進  
2. 放課後児童対策の充実

**3 健幸長寿のまち**  
**(1)健康**  
1. 健康づくりの推進  
2. メディカルコミュニティセンターの充実  
3. 母子保健事業の推進  
4. 地域人材の育成  
5. 食育の推進  
6. 感染症予防事業の充実  
**(2)スポーツ**  
1. スポーツの振興・普及  
2. スポーツを活用したまちづくり  
**(3)地域福祉**  
1. 総合的・分野横断的な支援の展開  
2. 住民が主体的に地域課題を解決できる環境づくり  
3. 生活困窮者に対する包括的な支援  
**(4)高齢者福祉**  
1. 地域包括ケア推進体制の強化  
2. 高齢者による生涯現役・生涯活躍への支援  
3. 認知症の予防と共生  
4. 介護保険事業の推進  
**(5)障がい者福祉**  
1. 障がい福祉サービスの充実  
2. 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進  
3. 精神保健福祉事業の充実  
**(6)医療**  
1. 救急医療体制の充実  
2. 医療保険制度の適正運営

**4 暮らしを支える産業が伸びゆくまち**  
**(1)農業**  
1. 農業経営の多角化  
2. 農業生産基盤の整備・拡充  
3. 集落営農組織の育成強化  
4. 農業の担い手の確保・育成、認定農業者の育成  
**(2)商工業**  
1. 地元商業・サービス業の振興  
2. 地元消費の推進  
3. 工業団地開発の推進  
4. 企業誘致の推進  
5. 新産業創出の環境づくり  
6. 伝統産業の活性化  
**(3)観光**  
1. タウンプロモーションの推進  
2. 観光、イベント、レクリエーションの取り組み  
3. 交流の活性化を目指した観光PR・情報発信の推進  
4. 観光資源の保全・活用  
5. 公園・緑地や水辺環境の整備

**5 心豊かで多様性のあるまち**  
**(1)文化芸術・歴史伝統**  
1. 文化芸術活動の育成  
2. 歴史・伝統文化の継承への支援  
3. 歴史資料の保存・有効活用  
4. 文化を守る意識の醸成  
**(2)生涯学習**  
1. 生涯学習の体制整備  
2. 生涯学習施設の適切な維持管理  
**(3)人権・共生**  
1. 人権教育・啓発の推進  
2. 男女共同参画社会の推進  
3. 多様性が尊重されるまちづくり  
**(4)多文化共生・国際交流**  
1. 多文化共生社会の推進  
2. 国際感覚あふれる人づくりのための交流の推進

**6 活力にあふれた多様な交流がうまれるまち**  
**(1)コミュニティ・住民参画**  
1. 住民がまちづくりに参画しやすい環境整備  
2. 政策形成過程への住民参画機会の拡充  
3. 広報活動の充実と適正な行政情報の公開  
**(2)生涯学習**  
1. 生涯学習の体制整備  
2. 生涯学習施設の適切な維持管理  
**(3)人権・共生**  
1. 人権教育・啓発の推進  
2. 男女共同参画社会の推進  
3. 多様性が尊重されるまちづくり  
**(4)多文化共生・国際交流**  
1. 多文化共生社会の推進  
2. 国際感覚あふれる人づくりのための交流の推進

**7 計画推進のために**  
**(1)総合行政**  
1. 健全な財政運営の推進  
2. 公有財産の最適な維持管理  
3. 公営住宅の適切な維持管理  
4. 効率的な行政運営の推進  
**(2)DX(デジタル・トランスフォーメーション)**  
1. 「みやき町DX」推進のための仕組みづくり  
2. 住民サービスの向上・行政業務の効率化(行政のDX)  
3. 地域のDX推進(暮らし・産業のDX)

## 第2 計画の進捗管理

総合計画の基本構想の実現のため、厳しい財政状況が予想される中、実効性の高い総合計画を進捗していくことは、不可欠である。行政においても各種事業の実施は、費用対効果を追求・重視していく必要がある。

そのために、PDCA サイクル（計画・実行・評価・見直しの繰り返し）を基本として、事業の進捗管理、事業実施後の検証、自己評価及び外部機関による評価を実施する。変化する社会情勢に即して施策内容を柔軟に見直しながら、まちづくりの基本理念に則り、誰もが住み続けたいと思う、魅力あるまちの実現を目指す。

【前期：令和 6（2024）年度 見直し】 → 見直し済み

【中期：令和 10（2028）年度 見直し】

【後期：令和 14（2032）年度 総括】



## 1 成果指標及び施策評価（35成果指標、93基本施策）

（1）成果指標について、令和6年度の達成度の評価を実施する。

達成度	達成率
4	目標値以上
3	実績値以上～目標値未満 （積上げの数値は、実績値超過～目標値未満とする。実績値が無いものは達成率80%以上～目標値未満とする。）
2	達成率30%以上～実績値未満 （積上げの数値は、達成率30%以上～実績値以下とする。実績値が無いものは達成率30%以上～達成率80%未満とする。）
1	達成率30%未満
0	実施なし

（2）基本施策の取り組みについて、令和6年度の達成度の評価を実施する。

達成度	達成率
4	計画どおり（以上）に進捗したもの/期待どおり（以上）の効果を得ることができたもの
3	概ね計画どおり進捗したもの/期待した効果を概ね得ることができたもの
2	進捗が遅れたもの/期待した効果があまり得られなかったもの
1	進捗が著しく遅れたもの/期待した効果が全く得られなかったもの
0	実施なし

## 2 内部評価（25施策分野）

「施策評価」を基に事務局で施策分野ごとに令和6年度の評価を実施する。

評価	評価基準
A 【順調】	計画どおり（以上）に進捗し（見込みも含む）、取り組みの成果も上がっている（成果が上がる見込みである）。（評点が3.5点以上～4点）
B 【概ね順調】	概ね計画どおり進捗し（見込みも含む）、取り組みの成果も上がっていると認められるが、課題や問題点も見受けられる。 （評点が2.5点以上～3.5点未満）
C 【要改善】	進捗が遅れたものの、取り組みの成果を上げるために改善の余地を残している。（評点が1.5点以上～2.5点未満）
D 【見直し】	進捗が著しく遅れ、成果を上げるために抜本的な見直しが必要である。 （評点が1.5点未満）

### 3 外部評価

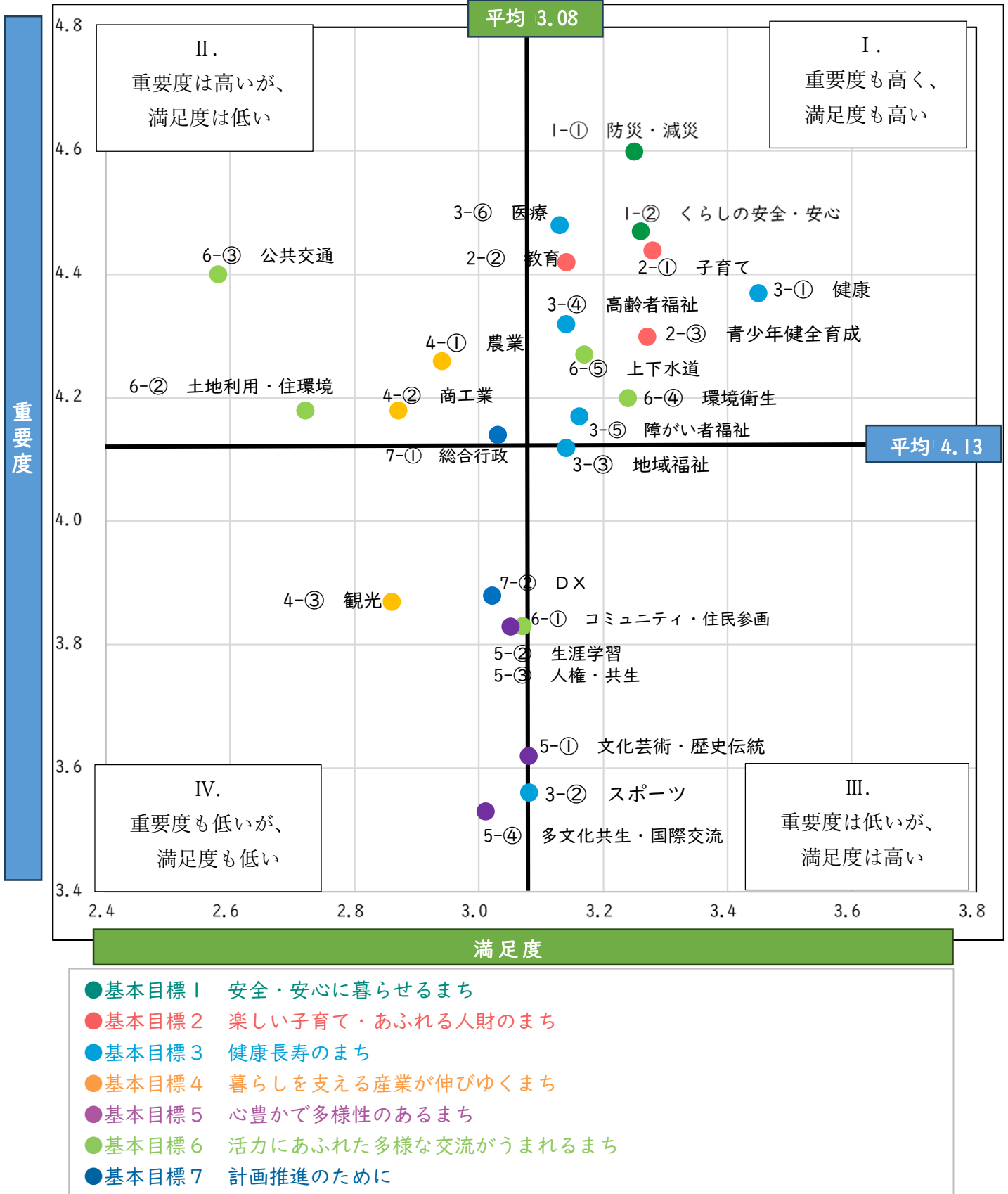
「内部評価」の結果を総合計画審議会に報告し、学識経験者や町民の参画により、専門的視点・町民目線で、計画の進捗状況を確認し、内部評価結果の公正性、適正性、妥当性等の検証を行うとともに、より効率的・効果的に施策を推進していくための評価を実施する。

なお、令和6年度の取り組みに対し、評価を行うものとする。

### 第3 進捗・評価

#### 1 町民アンケート結果の概要

今回の検証・評価の参考とするため、令和7年5月に町公式ラインで、生活環境やまちづくりの現状などに対する満足度等について、アンケート調査を実施し、464人から回答があった。問3-1「みやき町のこれまでの取り組みについて、あなたはどのくらい満足し、また、重要とお考えですか。（各項目について、「満足度」、「重要度」からそれぞれ1つずつに○）」の項目では以下の結果が得られた。



	重要度	満足度
1-① 防災・減災	4.60	3.25
1-② 暮らしの安全・安心	4.47	3.26
2-① 子育て	4.44	3.28
2-② 教育	4.42	3.14
2-③ 青少年健全育成	4.30	3.27
3-① 健康	4.37	3.45
3-② スポーツ	3.56	3.08
3-③ 地域福祉	4.12	3.14
3-④ 高齢者福祉	4.32	3.14
3-⑤ 障がい者福祉	4.17	3.16
3-⑥ 医療	4.48	3.13
4-① 農業	4.26	2.94
4-② 商工業	4.18	2.87
4-③ 観光	3.87	2.86

	重要度	満足度
5-① 文化芸術・歴史伝統	3.62	3.08
5-② 生涯学習	3.83	3.05
5-③ 人権・共生	3.83	3.05
5-④ 多文化共生・国際交流	3.53	3.01
6-① コミュニティ・住民参画	3.83	3.07
6-② 土地利用・住環境	4.18	2.72
6-③ 公共交通	4.40	2.58
6-④ 環境衛生	4.20	3.24
6-⑤ 上下水道	4.27	3.17
7-① 総合行政	4.14	3.03
7-② DX	3.88	3.02
平均	4.13	3.08

※散布図作成に関して

各項目について、

・満足：5点、やや満足：4点、どちらでもない：3点、やや不満：2点、不満：1点  
と得点を付与（重要度も同様）。

・各項目の平均点を計算。

・上記結果より、満足度と重要度における全体の平均点を算出。

## 2 成果指標の達成状況の概要

成果指標の 35 指標のうち、令和 6 年度末で「達成度 4」は 7 指標、「達成度 3」は 14 指標、「達成度 2」は 12 指標、「達成度 1」は 1 指標、「達成度 0」は 0 指標だった。

成果指標の達成度	基本目標 1	基本目標 2	基本目標 3	基本目標 4	基本目標 5	基本目標 6	基本目標 7	合計
達成度 4 目標値以上	1	1	1	1	2	1	0	7
達成度 3 実績値以上～目標値未満	2	2	5	3	0	2	0	14
達成度 2 達成率 30%～実績値未満	2	0	1	2	4	1	2	12
達成度 1 達成率 30%未満	0	0	0	0	0	1	0	1
達成度 0 実施なし	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	3	7	6	6	5	2	34

達成度 4、達成度 3 となった成果指標

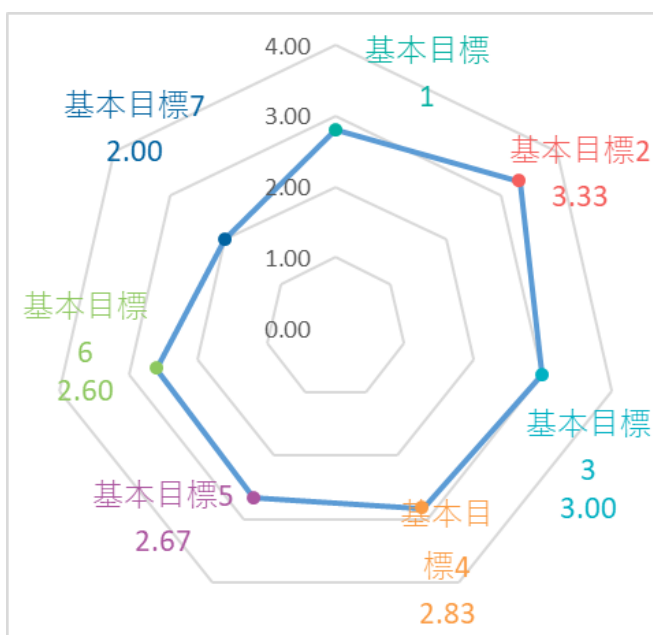
21/34

達成度が「4」もしくは「3」となった成果指標は 21 指標あり、達成度の平均値は 2.79 と前年度から増加した。(R5 年度は 2.49)

基本目標ごとみると基本目標 2 で平均値を大きく上回り、基本目標 7 では平均値を大きく下回った。

達成度が「4」の成果指標は、想定以上に順調に進んでいることから、目標値の現状維持か上方修正の検討が必要である。また逆に、達成度が「1」となった成果指標は、取り組みの改善等の検討が必要である。

なお、基本目標 3 の成果指標の一つに「平均自立期間」があるが、令和 6 年度から市町村単位の数値が公表されなくなったため、今回の集計から除外しており、指標の母数が 35 から 34 に 1 減となっている。



### 3 基本施策の評価の概要

基本施策の92施策について、令和6年度末における評価を行った結果、「達成度4」は13施策、「達成度3」は59施策、「達成度2」は17施策、「達成度1」は1施策、「達成度0」の基本施策は2施策だった。

なお、基本目標6の基本施策「04 上水道の安定供給」については、佐賀東部水道企業団で行っているため、評価を行っていない。

基本施策の達成度	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4	基本目標5	基本目標6	基本目標7	合計
達成度4	0	5	2	1	1	3	1	13
達成度3	6	9	17	8	6	9	4	59
達成度2	1	0	1	5	4	4	2	17
達成度1	0	0	0	0	0	1	0	1
達成度0	0	0	0	1	0	1	0	2
合計	7	14	20	15	11	18	7	92

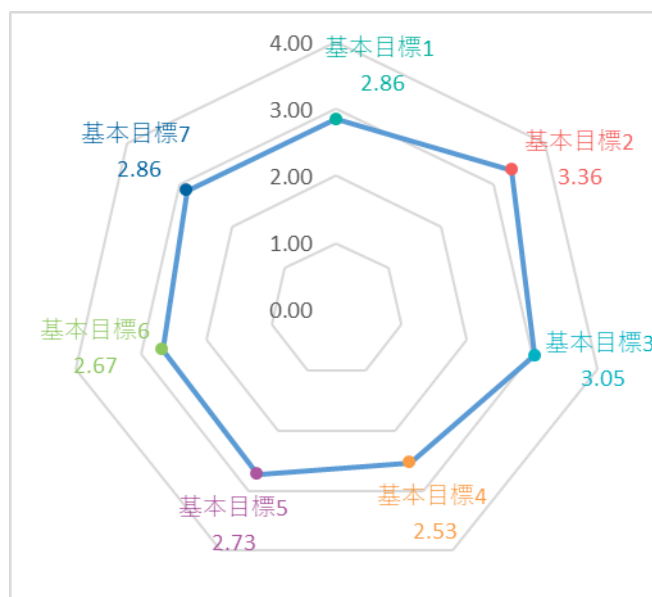
達成度4、達成度3となった基本施策

72/92

達成度が「4」もしくは「3」となった基本施策は72施策であり、達成度の平均値は2.87となった。(R5年度2.93)

基本目標ごとにみると、基本目標2の達成度が高く、基本目標4の達成度が低い結果となった。

基本目標2の達成度が高かった要因は、教育分野の評価が高かったためである。また、基本目標4の達成度が低かった要因は、商工業分野「06 伝統産業の活性化」が未実施となっていることがあげられるが、今後実施する計画になっている。



## 4 施策分野ごとの評価の概要

施策分野の 25 分野について、令和 6 年度末における評価を行った結果、「A【順調】」は 2 分野、「B【概ね順調】」は 20 分野、「C【要改善】」は 3 分野、「D【見直し】」は 0 分野となった。

施策分野の 評価	基本 目標 1	基本 目標 2	基本 目標 3	基本 目標 4	基本 目標 5	基本 目標 6	基本 目標 7	合計
A【順調】	0	1	0	0	1	0	0	2
B【概ね順調】	2	2	6	2	2	4	2	20
C【要改善】	0	0	0	1	1	1	0	3
D【見直し】	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	3	6	3	4	5	2	25

「A【順調】」、「B【概ね順調】」となった施策分野

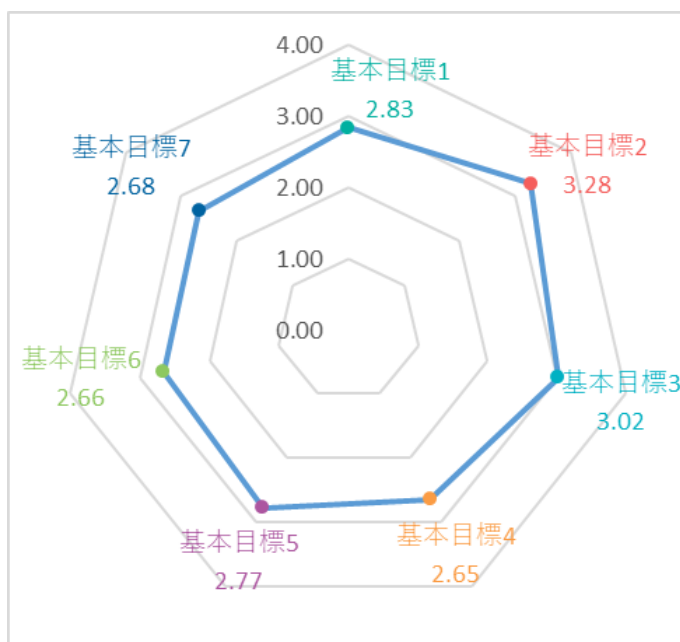
# 22/25

「A【順調】」、「B【概ね順調】」となった施策分野は 22 分野、評点の平均値は 2.84 となった。

基本目標ごとにみると、基本目標 2 の評価が高く、基本目標 4・6 の評価が低い結果となった。

「A【順調】」は基本目標 2 の青少年健全育成の分野と基本目標 5 の生涯学習の分野であり、成果指標及び基本施策の取り組みが順調に進んでいると考えられる。

「C【要改善】」は、基本目標 4 の商工業の分野、基本目標 5 の文化芸術・歴史伝統の分野、基本目標 6 のコミュニティ・住民参画の分野である。商工業分野では基本施策「06 伝統産業の活性化」が未実施であること、文化芸術・歴史伝統分野では全体的に現状維持が続いていること、コミュニティ・住民参画分野では成果指標のタウンミーティングが未実施であることが要因で評点が低くなり、「C【要改善】」の評価になっている。



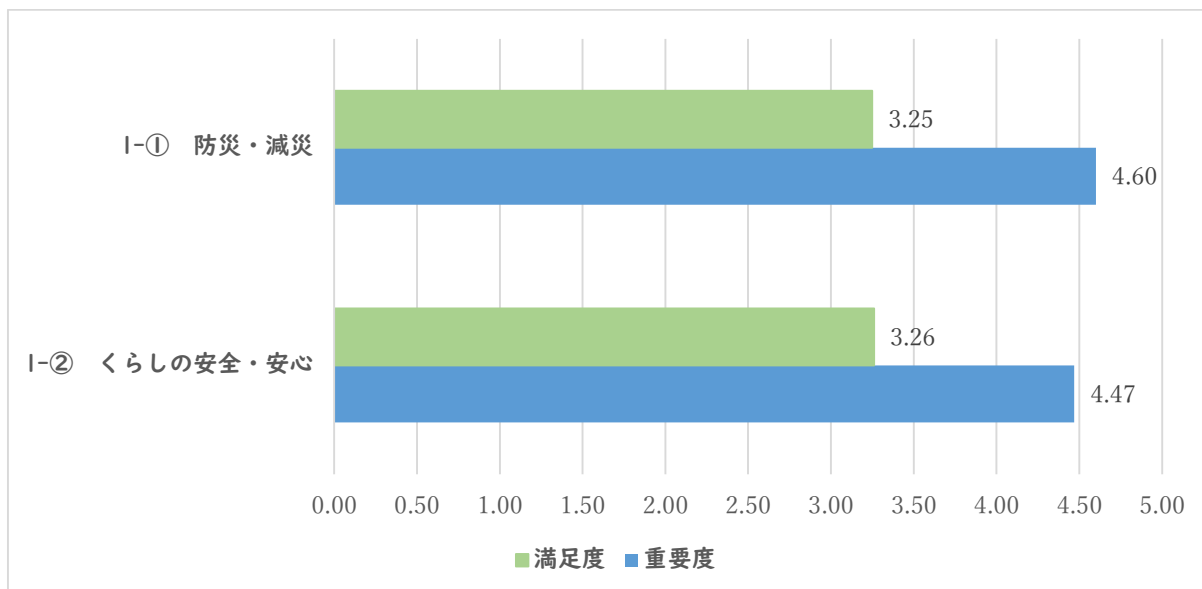
## 5 基本目標ごとの評価の概要

### 基本目標Ⅰ 安全・安心に暮らせるまち

災害に強いまちづくりを進めるとともに、安全な暮らしを支える社会基盤を整備します。特に近年多発している局地的豪雨に対応できるよう治水対策を推進します。

住民の防災意識の向上を図り、住民との協働により防災に対する取り組みを促進し、地域の消防力、防災力の向上を図ります。また、地域の特性を活かした防犯体制の充実や交通安全対策に努めます。

#### ○町民アンケートによる満足度、重要度



	満足度	重要度
1-① 防災・減災	3.25	4.60
1-② 暮らしの安全・安心	3.26	4.47

重要度は、平均値 4.13 を上回っていることから、ニーズが高い分野であることが分かる。満足度は平均値 3.08 を上回っているため、「Ⅰ. 満足度も高く、重要度も高い」の категорияに属している。町民の生命・財産に直結している分野であるため、積極的に推進していく必要がある。

(1) 防災・減災

【政策分野の目標】

万が一、災害が発生しても被害を最小限に止められるよう、町全体で減災できる体制を整えます。住民の生命・身体・財産を守るため、平時においても災害に備える意識を醸成し、地域の消防力・防災力の強化に努めます。

近年の局地的豪雨に対し、浸水被害を軽減するため、ハード・ソフトの両面から、効果的かつ効果的な取り組みを進め、災害に強いまちを目指します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
1	消防団組織率	%	98	92	100	3
2	避難訓練実施回数	回/年	1	1	3	2
3	防災出前講座開催数	回/年	2	4	6	4

No.	成果指標の検証
1	団員報酬の引上の必要性や活動実態のない団員がいることから、引き続き団員定数の引き下げを検討しており、適切な消防団の運営に努める。
2	佐賀県防災士会の協力のもと避難訓練を実施。3月に防火訓練・避難所運営訓練を予定していたが、雨天により実施できなかった。
3	地区等からの要望に基づき防災出前講座を実施。今後も防災に対する住民の意識向上に繋げたい。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01	防災体制の充実	担当課	達成度
	避難所で使用する簡易ベッド・パーテーションの備品を購入するなど資機材の充実に努めているが、大規模災害等を想定した場合には不十分である。また、食料についても購入しているが、物価高や在庫品の処分期限到来の影響により、十分な備蓄とはいえない。	防災安全課	2
		2	
02	災害時の初動対応体制の整備	担当課	達成度
	職員に対する避難所運営説明会の実施、担当部署間で要配慮者支援に対する連携会議を開催することで違った視点からの意見を取り入れるなどして、防災体制の充実を図った。	防災安全課	3
		3	

03 減災に向けた対策の推進	担当課	達成度
水防委員会にて河川の現地視察を行い、関係機関に改善等要望を行った。また、冠水被害の軽減及び早期復旧を目的として、排水ポンプ車2台の購入を行ったため、次年度の出水期より稼働させる。	防災安全課	3
	3	
田んぼダムの取組みについては、上流域において14地区、268haで取り組んだ。クリーク水位の事前調整については、「クリークの事前放流マニュアル」を作成し4回実施した。	農林課	
	3	
水閘門等の操作については、操作委託をしており、5月には講習会を開催し、操作員には国、県が定めたマニュアルに沿って操作をしてもらっている。また、操作遅れ等による被害が発生しないよう、操作員と密に連携を図った。	建設課	
	3	
04 消防体制の充実	担当課	達成度
20年を経過した消防積載車2台の更新を行った。また、コロナ禍での訓練不足がより明確となったことから、実践に基づいた放水訓練等を重点的に実施した。	防災安全課	3
	3	

【今後の方針】

01 防災体制の充実	担当課
引続き避難所運営に必要な防災資機材等の充実を図る。 また、職員への研修、住民向けの避難訓練についても引続き実施し、意識の高揚・普及啓発を図る。	防災安全課
02 災害時の初動対応体制の整備	担当課
職員への研修・訓練を実施する。要配慮者への対応や備えについても、より関係部署との連携を図り、発災時のスムーズな運営・対応に繋げる。	防災安全課
03 減災に向けた対策の推進	担当課
近隣市町や庁内関係部署と情報共有・連携を取り、本町に効果があるものを選定し、取り組んでいく。	防災安全課
気候変動の影響等による浸水被害を軽減するため、引き続き「田んぼダム」「クリーク水位の事前調整」に取り組んでいく。	農林課
内水被害の軽減及び操作遅れ等による被害を防ぐために、引き続き操作員と連携を図りながら水閘門操作に取り組んでいく。	建設課
04 消防体制の充実	担当課
定員数の見直しを行うことにより、団員報酬の引上げ、さらには個人支給を行い、消防団員離れを防ぎ、組織強化に繋げる。	防災安全課

内部評価	評点	評価
	2.86	B

(2) 暮らしの安全・安心

【政策分野の目標】

学校・地域・警察と連携し、情報の共有を図りながら、犯罪が起きず、児童・生徒や地域住民が安心して暮らせるまちを目指します。

学校・事業所・地域・警察と連携し、子どもから高齢者までの交通安全意識の醸成を図り、交通安全施設（ガードレール、カーブミラー等）の整備や道路の危険箇所の把握、改善整備を進め、住民の安全の確保を目指します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
4	防犯灯の設置件数	箇所	3,500	3,659	3,700	3
5	交通安全教室の開催回数	回/年	13	12	18	2

No.	成果指標の検証
4	地区要望に基づき設置を行う。
5	保育園・子ども園や小学校の要望に基づき交通安全教室において指導を行う。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01	地域における安全対策の充実	担当課	達成度
	地区要望に基づき、防犯灯の適切な設置に努めている。また、防犯カメラについても同様に設置する。	防災安全課	3
	登下校中の防犯対策として小学生に防犯ブザー購入の助成事業を実施した。	学校教育課	
		3	
02	消費者保護対策の推進	担当課	達成度
	産業支援課に依頼し消費者教育を実施した。	学校教育課	3
	月曜日と水曜日に消費生活相談窓口を開設し、速やかな被害者対応に努めた。	産業支援課	
	被害防止に向けた啓発として、毎月広報紙でトラブル事例と相談窓口の情報を発信。	3	3
	消費者教育の推進として、小中学校で4回、高齢者向けに3回の出前講座を実施。		

03 交通安全対策の推進	担当課	達成度
交通安全講習会、交通安全街頭キャンペーンなどを各校区において実施し、交通安全に対する広報活動を行い普及啓発に努めた。また、地区要望等に基づき交通安全施設の新規設置や補修・修繕を行った。	防災安全課	3
	3	
町内小中学生対象にヘルメット購入の助成事業を実施した。	学校教育課	
	3	

【今後の方針】

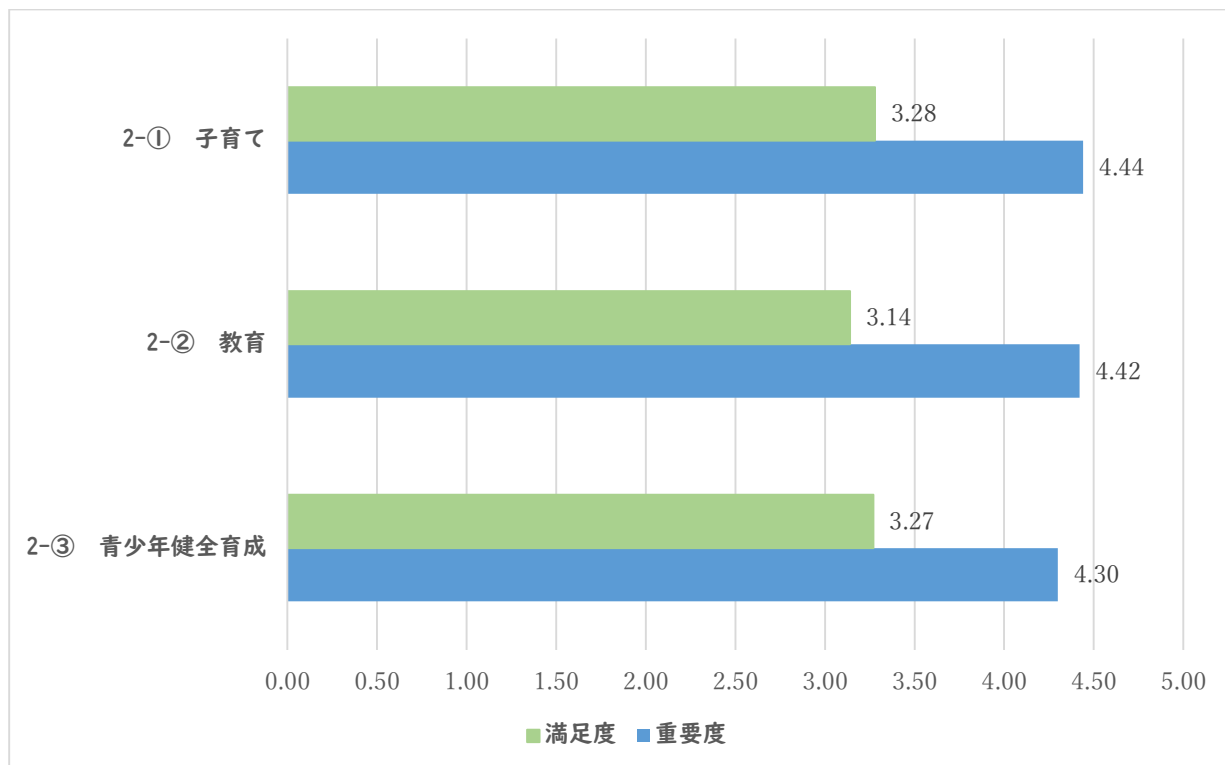
01 地域における安全対策の充実	担当課
宅地分譲開発地における防犯灯等の設置については、開発者において適切な対策を講じていただくよう努める。また、昨今の強盗事件等により住民の不安が広がっていることから、これまで通学路を中心に設置していた防犯カメラを、住宅密集地に設置することも検討する。	防災安全課
防犯ブザーの助成事業については、今後も継続して実施予定である。	学校教育課
02 消費者保護対策の推進	担当課
次年度以降も継続して講義を依頼したい。	学校教育課
消費生活相談窓口において、速やかな被害者対応に努める。 被害防止に向けた啓発として、毎月広報紙でトラブル事例と相談窓口の情報を発信する。 消費者教育の推進として、小中学校や高齢者向けに出前講座を実施する。	産業支援課
03 交通安全対策の推進	担当課
交通安全教室などにより交通安全の普及啓発に努める。また、交通安全施設についても適切な設置を行い安全確保に努める。	防災安全課
助成事業については、今後も継続して実施予定である。また、町内全校区を対象に通学路の安全点検を実施しており、令和7年度以降3校区をローテーション（3年で1周）しながら毎年実施予定である。	学校教育課

内部評価	評点	評価
	2.80	B

## 基本目標2 楽しい子育て・あふれる人財のまち

「子育てするならみやき町」の理念を実現するため、子育て支援に関わる取り組みを充実させます。そして、本町で育つ子どもたち一人ひとりがその個性を発揮でき、確かな学力と「生きる力」が身に付けられるよう、教育の充実を図り、地域全体で次世代の健全育成を進めます。

### ○町民アンケートによる満足度、重要度



	満足度	重要度
2-① 子育て支援	3.28	4.44
2-② 学校教育環境	3.14	4.42
2-③ 青少年の育成	3.27	4.30

重要度は平均値 4.13 を上回っているため、ニーズが高い分野であることが分かる。また、満足度も平均値 3.08 を上回っているため、「I. 満足度も高く、重要度も高い」の категорияに属している。基本目標 2 は主に子育て世帯に関連する分野であるが、満足度は高くなっている。

(1) 子育て

【政策分野の目標】

「子育てするならみやき町」の理念を実現するため、関係機関と連携を図りながら、子育て世帯の多様なニーズに応じられるよう、妊娠・出産・育児と一元的な支援や保育サービスを提供し、誰もが安心して子育てできるまちを目指します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
6	待機児童数	人	2	0	0	4

No.	成果指標の検証・課題
6	受入施設の1園増設、保育士業務の負担軽減を行うことで保育士の確保ができたことにより、目標値を達成することができた。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 子育て環境の整備	担当課	達成度
児童館、子育て広場、ファミリー・サポート・センター事業、地域子育て支援拠点施設、子育てをサポートする団体の支援を行うことで子育て環境の整備を行った。また、出生祝金事業、就学前児童から高校生までの医療費助成等の子育てにかかる経済的支援を継続して取り組むことができた。	子育て福祉課 4	3
小中学校に在学する児童生徒の給食費を全額補助している。安心して子育てできる環境の一つとして子育て世帯が抱えている経済的負担の軽減を図るものである。	学校教育課 3	

02 育児支援体制の充実	担当課	達成度
子ども家庭センターの開設準備を行った。	子育て福祉課	3
	3	
<p>安心して妊娠・出産・子育てできるように、母子手帳交付時に保健師が面談を行い、支援を要する母子を早期に発見、妊娠期から切れ目ない継続した支援を実施した。出産後も、産後デイサービスや助産師無料電話相談により、産後の不安定な時期や育児不安の強い時期等にも24時間いつでも相談できる体制を整えるとともに、保健師・管理栄養士・助産師等専門職による育児・離乳食・発達等各種相談会も実施した。また、経済的支援として妊婦健康診査、産婦健康診査、新生児聴覚検査、妊婦歯科健診等の費用助成や子どものインフルエンザ予防接種費用の一部助成、出産・子育て応援ギフトの給付等を行い、多方面より育児支援の体制整備に取り組んだ。</p> <p>地区ごとに委嘱している母子保健推進員は地域の身近な相談役として訪問活動を実施した。また、未就学児を対象とした「おたのしみ会」を実施し、親子同士や母子保健推進員とのふれあいを行うことができた。</p> <p>支援を要する対象者を早期把握し、母子が安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援に努めてはいるが、それぞれの母子が抱えている成育歴や家族背景等の問題が深く、継続的に養育・見守り支援を要するケースが年々増加傾向にある為、今後も関係機関と連携し育児支援体制の充実を図って行く。</p>	健康増進課	3
	4	
03 乳幼児保育の充実	担当課	達成度
<p>保育士等人材確保のための助成金の交付に加え、障害児保育対策事業、保育体制強化事業、保育補助者雇上強化事業を行うことにより保育士業務の負担軽減を行うことで保育サービスの充実を図ることができた。</p>	子育て福祉課	3
	3	
04 ひとり親家庭等への支援	担当課	達成度
<p>生活の安定・自立に向け、手当の給付や医療費助成、放課後児童クラブや第三の居場所の利用料減免等の経済的支援を行った。</p>	子育て福祉課	3
	3	
05 虐待防止対策の強化	担当課	達成度
<p>関係機関と連携しながら児童の発達、心配ごと、児童虐待に関する相談対応及び社会資源等に関する情報提供を行い、改善を図った。</p>	子育て福祉課	3
	3	

【今後の方針】

01 子育て環境の整備	担当課
子育てに関するニーズに対して柔軟に対応し、子育てをサポートする団体や活動を支援することを通じて、より良い子育て環境を整備する。また、子育てに関する情報提供や相談の場の充実を図り、保護者の負担を軽減するための取り組みを進める。	子育て福祉課
次年度以降も、小中学生の給食費完全無償化を継続する予定	学校教育課
02 育児支援体制の充実	担当課
子ども家庭センターを令和7年度に開設を予定している。	子育て福祉課
妊娠期から出産・子育て期を通して安心して妊娠・出産・子育てできるように、個々に応じた支援を行うとともに、引き続きハイリスク妊産婦や支援を要する乳幼児家庭の早期発見、早期介入を行い、みやき町の全て家庭の健やかな成長発達の支援を行う。	健康増進課
03 乳幼児保育の充実	担当課
就労等で保育が必要な世帯のニーズに応えるため、0～2歳児の保育を行う小規模保育園開設事業を推進することで継続して待機児童解消を目指す。	子育て福祉課
04 ひとり親家庭等への支援	担当課
ひとり親家庭等への経済的支援に加え、様々な悩みなどに関する相談に対応するため、相談支援体制の充実を図る。また、第三の居場所の利用者拡大のため関係機関と協力しながら必要な世帯へ案内を行う。	子育て福祉課
05 虐待防止対策の強化	担当課
関係機関や地域、団体等と連携し、要保護児童等の支援体制の強化を図る。	子育て福祉課

内部評価	評点	評価
	3.17	B

(2) 教育

【政策分野の目標】

本町の子どもたちが、社会の急速な変化に対し、心豊かにたくましく生き抜く力を身に付け、自らが考え、創造し、問題解決に向け他者と協働していく力を身に付けられる教育を目指します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
7	子どもと保護者への 学校評価アンケートによる 満足度	%	—	—	80	—

No.	成果指標の検証・課題
7	—

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01	生きる力を伸ばす教育の推進	担当課	達成度
	一人一台のタブレット端末の整備により、ICTを活用した指導の質的向上が求められる中、教職員間のICT活用能力の差が業務負担の偏在を生じさせる課題となっている。これに対応するため、GIGAスクール運営支援センターを中核とした支援体制を構築し、研修や相談対応を通じて学校現場のICT活用を継続的に支援してきた。 併せて、生徒数及び教職員数の増加を見据え、ICT機器が不足することのないよう、計画的かつ段階的な整備を進めている。 これら以外にも、例年小学6年生を対象に「夢の教室」事業を実施し、子どもたちに「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」を伝えている。	学校教育課 4	4
02	幼児教育の充実	担当課	達成度
	乳児と保護者に、絵本で心ふれあうひとときを届けるブックスタート事業を北茂安保健センターにおいて実施した。	子育て福祉課 4	4
03	子どもが学びやすい教育環境の整備	担当課	達成度
	町立校7校に対し、スクールカウンセラー3名、スクールソーシャルワーカー1名を配置している。児童生徒からの学校、家庭内の多様な相談を受け付ける体制を用意している。 別に、AIシステムである学校スクリーニングシステム「YOSSクラウドサービス」を導入している。これにより、児童生徒に向けた潜在的なSOSの早期発見と適切な支援の実施、教員における一人での抱え込み防止による負担軽減の効果が期待される。	学校教育課 4	4

04 教育施設の整備と充実	担当課	達成度
<p>学校空調機整備計画に基づき空調機を教室に設置した。普通教室の整備率は100%であり、特別教室への設置を進めているところである。</p> <p>また、長寿命化計画に則り、学校施設の健全度が低い箇所については、随時工事等の対応を行っているところである。それ以外の危険箇所についても子供たちへ危険が及ばないように随時補修を行っている。</p>	学校教育課	3
	3	
05 地域に開かれた学校づくり	担当課	達成度
<p>各校に学校運営協議会を設置している。学校の教育活動や運営について多角的な視点を反映し、教職員、生徒、保護者、地域の人々の意見を交換する場となる。これにより、学校運営が公開的に討議され、より良い教育環境の実現に寄与する。また、学校と地域社会との連携も強化される狙いもある。</p>	学校教育課	3
	3	
06 特別支援教育の充実	担当課	達成度
<p>特別支援学級・通級への入級者数は年々増加しており、適切に人員を確保することにより年間を通じて欠員が生じないように努めている。</p>	学校教育課	3
	3	
07 世界に飛躍できる人を育む国際化教育の充実	担当課	達成度
<p>町内小中学校に外国人指導助手（ALT）を配置して、子どもたちの外国語によるコミュニケーション能力の育成のみならず、国際理解を促進している。子ども達の英語力の向上のみならず異文化に親しむ良い機会となっている。</p>	学校教育課	3
	3	
<p>みやき町国際交流会において、外国人との交流活動をおこなっている。また、開催している日本語教室において、ボランティアとして住民や地域の高校生も参加している。</p>	まちづくり課	3
	3	

【今後の方針】

01 生きる力を伸ばす教育の推進	担当課
<p>児童生徒数、教室数は毎年増加傾向にあるが、滞りなくタブレット、電子黒板を整備し ICT 機器活用のための適切な環境を整備する。</p>	学校教育課
02 幼児教育の充実	担当課
<p>今後も、赤ちゃんが保護者と気持ちを通わせながら楽しい時間を過ごすことで、心健やかに成長することを応援するためブックスタート事業を継続実施する。</p>	子育て福祉課

03 子どもが学びやすい教育環境の整備	担当課
<p>スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを適切に配置し、児童生徒からの相談を受ける体制を継続する。また、スクリーニングシステムを有効活用した児童生徒への支援を進めていきたい。</p>	学校教育課
04 教育施設の整備と充実	担当課
<p>空調については R7 年度は 14 教室への設置を予定している。生徒数の増に伴い、普通教室数も増加しているため、空調の設置が必要な教室がある。また、特別教室への設置も漸次進めていく予定である。</p> <p>また、長寿命化計画は R7 年度に中間見直しをすることとなっているが、併せて耐力度調査を実施し、長寿命化による保全を行うか、改築を行うかを判断し、計画に反映させ、より実行力のある計画の策定に邁進する。</p>	学校教育課
05 地域に開かれた学校づくり	担当課
今年度事業の継続	学校教育課
06 特別支援教育の充実	担当課
今年度事業の継続	学校教育課
07 世界に飛躍できる人を育む国際化教育の充実	担当課
今年度事業の継続	学校教育課
<p>国際交流事業に参加する人が限られており、多くの住民に活動を認知してもらうため、国際交流協会と協働して活動を広報紙に掲載したり、ホームページに掲載したりするなど周知活動を推進する。</p>	まちづくり課

内部評価	評点	評価
	3.43	B

(3) 青少年健全育成

【政策分野の目標】

学校や家庭、地域、関係機関と連携し、子どもたちが健やかに成長できる環境を整備します。そのために、青少年指導や相談事業を積極的に行うとともに、子どもたちを地域で見守り、子どもたちが多世代の地域住民と交流できる仕組みづくりを進めます。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
8	青少年健全育成 地区活動実施地区数	地区	40	40	57	3

No.	成果指標の検証・課題
8	実績値は基準値と同等の数値であるが、前年度を下回ったため活動の拡大を図る必要がある。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 青少年健全育成の推進	担当課	達成度
青少年健全育成指導員を各地区から1名ずつ委嘱し、年6回の定例会において情報や意見交換を行うことにより、各地区の青少年を対象とした取り組みや犯罪被害の事案などを情報共有することができた。また、地区で実施される青少年の体験・交流活動に対し補助金を交付することで、世代間交流の推進と青少年を地域で育む意識の高揚につながることができた。	社会教育課 4	4
困難を抱える子ども達が安心して過ごせる場所として、昨年度から第三の居場所事業を実施している。子どもの生活習慣や学習習慣を育む場として登録児童数は増加している。	子育て福祉課 4	
教育委員会事務局内にフリースクールを設置しており、R6年度に利用した児童生徒は21人であり、そのうち2人が復学している。不登校の生徒が自主性を育み、学びの楽しさを再発見する場を提供している。生徒は自分自身のペースで学び、自信を取り戻すことが期待される。	学校教育課 3	
02 放課後児童対策の充実	担当課	達成度
子ども教室については感染症の状況をみながら前期2回、夏休み8回、後期3回の開催を計画し、実施している。現時点では感染症等の影響もなく、計画どおりに事業を進めることができています。	社会教育課 4	4
町内4施設での放課後児童クラブ事業に加え、第三の居場所事業を実施し個別のニーズに対応した事業を行い、充実を図った。放課後児童クラブについては利用児童数が増加傾向にあるため実施場所や支援員確保が課題となっている。	子育て福祉課 4	

【今後の方針】

01 青少年健全育成の推進	担当課
青少年健全育成指導員の定例会において活発な情報や意見交換を進めるとともに、サポート隊や関係機関との連携を密にし、青少年の健やかな育成と安全安心な環境づくりを推進する。また、地区における青少年社会教育課と地域の大人との交流を深め、学校では体験できない様々な活動の場を支援するため、青少年健全育成地区活動の拡大を図っていく。	社会教育課
第三の居場所等の支援施設や関係機関と連携しながら、子どもの発達、悩み事に応じて寄り添った支援を行っていく。	子育て福祉課
継続してフリースクールを設置し、何らかの理由で学校にいけない児童生徒が気軽に来訪できる環境を用意し、児童生徒の学校への復学へ繋げることを目標とする。	学校教育課
02 放課後児童対策の充実	担当課
引き続き地域の指導者と連携し、子どもの体験活動の充実と居場所づくり、地域の大人との交流を図っていく。子ども教室の十分な周知期間社会教育課の確保と周知方法の工夫に努める。	社会教育課
共働き等により昼間保護者が家庭にいない小学生を安全に預かり、その遊びと生活を支援し健全育成を図っていく。また、利用児童数増に対応するため、開設場所の検討や支援員の確保に努める。	子育て福祉課

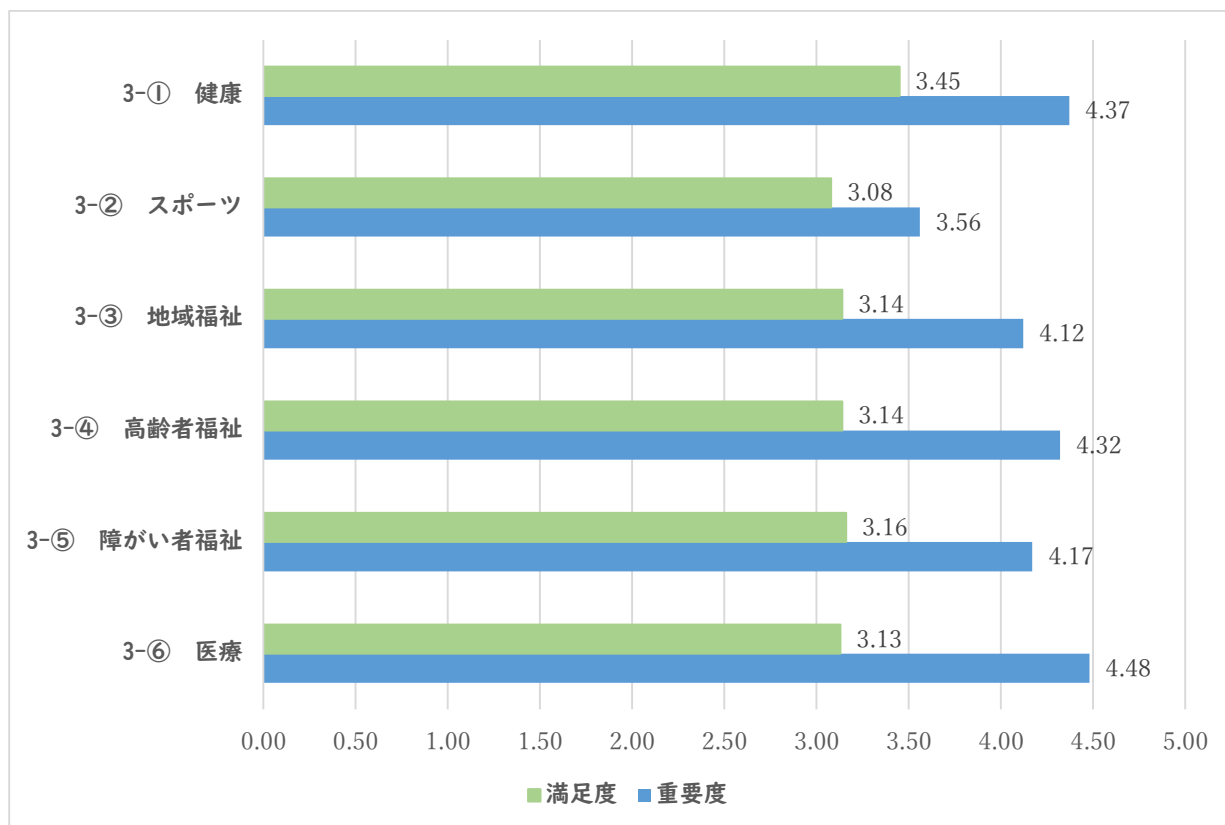
内部評価	評点	評価
	3.67	A

### 基本目標3 健幸長寿のまち

誰もが生涯を通して心身ともに健康に過ごせ、主体的に健康づくりを行えるよう、保健・福祉・スポーツ・医療の連携を図りつつ、「健幸長寿」のまちづくりを推進します。メディカルコミュニティセンターを拠点として、その機能の充実に図ります。更に、スポーツを活用したまちづくりを推進し、住民が心身ともに健康であり続けられるよう、スポーツによる健康づくりや生きがいづくりに努めます。

また、ニーズの多様化・複雑化に伴って、既存の福祉制度やサービスでは対応が難しくなっている状況に適切に対処し、高齢者、障がい者など、すべての人々が住み慣れた地域で互いに支え合いながら暮らすことができる環境の整備を進めます。

#### ○町民アンケートによる満足度、重要度



	満足度	重要度
3-① 健康	3.45	4.37
3-② スポーツ	3.08	3.56
3-③ 地域福祉	3.14	4.12
3-④ 高齢者福祉	3.14	4.32
3-⑤ 障がい者福祉	3.16	4.17
3-⑥ 医療	3.13	4.48

重要度では、「3-①健康」、「3-⑥医療」の重要度が高くなっており、「3-②スポーツ」は低くなっている。満足度では、「3-①健康」が高くなっており、「3-②スポーツ」は低くなっている。

(1) 健康

【政策分野の目標】

誰もが生涯を通して心身ともに健康に過ごせるよう、保健・医療・福祉の連携を図り、それぞれの生活に応じた健康づくりを進め、「健幸長寿のまち」を目指します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
9	平均自立期間	歳	(男)79.3 (女)84.2	—	(男)80.5 (女)84.6	—
10	健幸大学受講者数	人/年	80	93	120	3

No.	成果指標の検証・課題
9	平均自立期間について令和6年度分から市町村単位での数値が公表されていないため、成果指標の見直しが必要。
10	受講申込者は順調に推移しているため、連続欠席者への電話連絡など脱落者を出さない取組を継続していく。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 健康づくりの推進	担当課	達成度
<p>健康長寿の延伸並びに健康格差の縮小を図る為、</p> <p>①特定健診・がん検診等の実施 がん、循環器病、糖尿病等、生活習慣病等の早期発見、早期治療に結び付けれるよう、特定健診・がん検診等を行い、ハガキや電話、訪問による受診勧奨を行い受診率向上に向けた取り組みを実施しました。</p> <p>②生活習慣病等の発症予防・重症化予防の取り組み 本町の特定健診の結果、血糖の高い方の割合が県内でも高い状況にあり、糖尿病は全身の血管に影響をきたし心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症からの透析導入の大きなリスク要因となるため、糖尿病対策は重要課題です。その為、健診の結果を基に、受診が必要な方は確実に医療機関受診に繋ぎ、治療中の方も疾病を適切にコントロールできるよう、継続した訪問等により個々に応じた保健指導を実施しました。</p> <p>③歯・口腔の健康、心の健康相談の取り組み 20・30・40・50・60・70歳を対象に無料で歯周疾患健診を実施、また、健康相談を随時行い、住民の健康増進のための取り組みを実施しました。</p> <p>本町の特定健診の受診率は県平均より低く、生活習慣病に係る医療の割合の中で、慢性腎不全に係る医療費の割合が県平均より高い状況にあります。予防可能な疾患の重症化予防を行い住民の健康の保持増進に図れるよう、今後も受診率向上に向けた取り組み及び、発症予防、重症化予防の取り組みに努めます。</p>	健康増進課	3

<p>高齢者についてはハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチを実施し重症化予防を目的に保健指導を行っている。保健指導の充実を図るとともに、医療との連携、関係各課との連携の強化が課題。</p>	<p>メディカル</p> <p>3</p>	
<p>02 メディカルコミュニティセンターの充実</p>	<p>担当課</p>	<p>達成度</p>
<p>健幸大学をはじめ、マルシェ等の施設イベント、施設貸出による教室などの実施及び隣接する B&amp;G 海洋センターの利用等により、施設の集客は大きく伸びている。施設利用者の要望等を考慮し、コスト意識を持ちながらも利便性の高い施設とすべく運営を推進していく。</p>	<p>メディカル</p> <p>3</p>	<p>3</p>
<p>03 母子保健事業の推進</p>	<p>担当課</p>	<p>達成度</p>
<p>妊娠期から出産・子育て期を通して安心して妊娠・出産・子育てできるように、母子手帳交付時から保健師が面談を行い、みやき町産前産後サポートステーションを委託している NPO 法人きゃんどるハートや医療機関等、関係機関と連携を図り個々に応じた切れ目ない継続した支援を実施。保健師・管理栄養士・助産師等専門職による育児・離乳食・発達等各種相談会も実施した。</p> <p>支援を要する対象者を早期把握し、母子が安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援に努めてはいるが、それぞれの母子が抱えている成育歴や家族背景等の問題が深く、継続的に養育・見守り支援を要するケースが年々増加傾向にある為、今後も関係機関と連携し継続した切れ目ない支援の体制作りを努める。</p>	<p>健康増進課</p> <p>4</p>	<p>4</p>
<p>04 地域人材の育成</p>	<p>担当課</p>	<p>達成度</p>
<p>母と子の健やかな成長の見守りと地域での身近な相談役として母子保健推進員を委嘱している。令和5年度で3年の任期を満了にしたことにより、令和6年度は約半分が交代し、新体制での活動となった。初めての活動に不安を感じる推進員に対し、きめ細やかに支援を行うとともに、町内の子育て支援施設を巡るなどの研修を行うことにより、新たに母子保健推進員となった方の活動を支えた。担当地区の乳幼児家庭訪問や乳幼児健診の援助、子育ての輪作りの場として「おたのしみ会」を行い、親子同士や母子保健推進員との交流も深めることができた。母子保健推進員の活動により様々な悩みを抱える母子に寄り添い、育児不安の解消につなげることができている。</p> <p>地域での食育活動を食生活改善推進協議会へ委託し、料理講習会や地区公民館で食の講話等を通して、減塩や野菜の摂取等について普及啓発を行った。令和6年度99名の会員が地域で活動されているが、会員の高齢化により、会員の減少が進んでおり、新しい人材の育成が課題である。</p>	<p>健康増進課</p> <p>3</p>	<p>3</p>

05 食育の推進	担当課	達成度
<p>第3次みやき町食育推進基本計画に基づき、食育関係課と連携し食育の推進に取り組んだ。「食」に関する正しい知識や食を選択する力を身につけるため、料理講習会等を実施し、子どもから高齢者まで各世代に合った食育活動に努めた。乳幼児健診では、離乳食や幼児食について、保護者の方の悩みを解決し、望ましい食習慣が確立できるよう、栄養相談を実施した。若い世代や働き世代の方々の参加が少ないため、町公式LINE等を活用し、より多くの方々に参加していただけるよう努めたい。</p>	健康増進課	3
	3	
<p>学校給食に使用する米はすべて町内産のものを使用している。また、小学校では学習田による体験型の教育を実施しており、食の起源や食物生産の過程を理解し、食べ物への尊敬と感謝の感情を育むことが期待される。また、地産地消により地域経済を支援し、子どもたちに地域への誇りと連帯感を感じさせることとなり、子どもたちの健全な食生活と地域社会への理解を深めることに寄与するものである。</p>	学校教育課	3
	3	
06 感染症予防事業の充実	担当課	達成度
<p>感染の恐れがある疾病の発生及び蔓延を予防するために予防接種法に基づく各種予防接種を実施。定期予防接種（A類疾病、B類疾病）、緊急風しん対策、みやき町独自の予防接種費用の一部助成を実施(子どものインフルエンザ)。</p> <p>令和6年度は新型コロナウイルスワクチンが定期接種となり、10月からの接種開始に向けて、ホームページや広報等で住民に周知を行った。</p> <p>また、4種混合ワクチンにヒブワクチンが加わった5種混合ワクチンも定期接種となり、2か月児相談時に周知を行った。</p>	健康増進課	3
	3	
<p>町内全校に対し、空気清浄機を教室に各1台、サーキュレーターを教室に2台、大型扇風機を体育館に各1台設置し、換気対策を実施している。</p>	学校教育課	3
	3	

#### 【今後の方針】

01 健康づくりの推進	担当課
<p>子どもから高齢者までが、自分たちの生活習慣に気を付けて健康で安心できる暮らしを送ることができるよう健康づくりに取り組み、健康を保持増進し早世予防、医療費の適正化を目指す。</p>	健康増進課
<p>高齢者においては、重症化予防の更なる保健指導の充実を図る。</p>	メディカル
02 メディカルコミュニティセンターの充実	担当課
<p>公民連携の健康増進複合施設として、今後は大学・地域医療機関・民間事業者等との更なる連携の強化を図り、町民・施設利用者の健康づくりに資する取組を推進していく。</p>	メディカル

03 母子保健事業の推進	担当課
妊娠期から出産・子育て期を通して安心して妊娠・出産・子育てができるよう、個々に応じた支援を行うとともに、引き続きハイリスク妊産婦の早期発見・早期介入を行い、みやき町の全ての母子の健やかな成長発達の支援を行う。	健康増進課
04 地域人材の育成	担当課
地域における母と子の健やかな成長の見守り及び行政のパイプ役として活動できるよう、母子保健推進員マニュアルを用いて母子保健推進員の育成に努める。 地域での食育活動を実施し、食を通じた健康づくりを実施するため、引き続き、食生活改善推進員の育成と、人材確保に努める。	健康増進課
05 食育の推進	担当課
第3次みやき町食育推進基本計画に基づき、地区での料理講習会、乳幼児健診等で栄養相談を実施し、食育関係課と連携した食育の推進に努める。	健康増進課
今年度事業の継続	学校教育課
06 感染症予防事業の充実	担当課
予防接種法に基づき接種勧奨を行い、感染の恐れがある疾病の発生及び蔓延を予防し、突発的に発生する伝染病に対応できる体制づくりを進めていく。麻しん風しん予防接種については、国が接種率の目標としている95%を目指して、引き続き各乳幼児健診、就学児健診時の接種勧奨に努める。	健康増進課
今年度事業の継続	学校教育課

内部評価	評点	評価
	3.14	B

(2) スポーツ

【政策分野の目標】

幼児期から老齢期まで、ライフステージに合ったスポーツができる環境をつくることを通し、スポーツを活かした住民の健康増進や、生きがいづくり等、住民が元気で活躍できるまちを目指します。

また、スポーツを通じた住民の交流を活性化させるための拠点をつくります。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
11	スポーツイベント参加者数	人/年	6,569	7,755	8,600	3
12	運動施設利用者数	人/年	178,149	215,457	213,000	4

No.	成果指標の検証・課題
11	令和6年度は国民スポーツ大会を開催し、選手・監督や役員・係員、一般観覧者等が多く参加したことによりスポーツイベント参加者数が多かった。
12	運動施設利用者数は令和5年度と比較して10,000人以上増加し、目標値を達成し。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 スポーツの振興・普及	担当課	達成度
<p>多くの関係者の協力により国民スポーツ大会を開催し、トップアスリートのプレーを間近で観戦する機会を創出することができた。</p> <p>また、分館対抗スポーツ大会（ミニバレーボール、アジャタ）等を開催し、地域住民がスポーツに触れる機会を提供しスポーツの振興・普及を図ることができた。</p>	社会教育課	3
	4	
<p>一般社団法人みやきスポーツコミッションと協働し、前年に引き続き健康教室やサッカー教室などを開催した。これにより、老若男女問わず多くの方々に参加していただき、継続的なスポーツの振興・普及を図ることができた。</p> <p>また、地域活性化起業人が企画した「親子凧揚げイベント」や「元日本代表のプロサッカー選手によるサッカーイベント」なども開催し、町民に幅広くスポーツに触れる機会を提供した。</p>	情報未来課	3
	3	

02 スポーツを活用したまちづくり	担当課	達成度
スポーツ教室等でのニュースポーツ用具の活用や地域住民に用具の貸出を行うことで、スポーツを広げる取組を行うことができた。	社会教育課 3	3
一般社団法人みやきスポーツコミッションと協力し、みやきマルシェや各種イベントに合わせてイベントの企画や参加を行うことで、みやきなでしこクラブやみやき町の取組みをPRし、交流人口・関係人口の増加を図ることができた。	情報未来課 3	

【今後の方針】

01 スポーツの振興・普及	担当課
スポーツ推進委員に対する研修等を定期的に行い、スポーツの指導力向上を図っていく。また、分館対抗スポーツ大会の運営や、全ての町民が対象となるようなスポーツイベントを開催することで住民の運動機会の提供を行う。	社会教育課
あらゆるスポーツにスポットをあて、町民がスポーツに興味を持ち、スポーツに触れる機会を創出する。	情報未来課
02 スポーツを活用したまちづくり	担当課
関係機関と協力しながら多目的人工芝グラウンドの整備を確実にを行い、スポーツによる交流人口や関係者の拡大を図ることで地域の活性化を図っていく。スポーツ協会や少年スポーツクラブ振興会とも連携しながらスポーツによる交流や関係人口の拡大、地域の活性化を図る。	社会教育課
一般社団法人みやきスポーツコミッションと更なる連携を強化し、スポーツ推進計画に沿って、誰もが参加できる場の創出を行うことで、交流人口・関係人口の増加を図る。	情報未来課

内部評価	評点	評価
	3.25	B

### (3) 地域福祉

#### 【政策分野の目標】

誰もが住み慣れた地域で健康に暮らし、住民一人ひとりに寄り添い、互いに助け合うことのできる地域共生社会を創るとともに、生活に困窮している人や生活に関して様々な問題を抱える人が、自立できるまちを目指します。

#### 【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
13	ボランティア連絡協議会 登録者数	人	603	355	670	2

No.	成果指標の検証・課題
13	ボランティア連絡協議会の登録者数は減少傾向にあるが、その他のボランティアの方々は少しずつ増えている。

#### 【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 総合的・分野横断的な支援の展開	担当課	達成度
複数の課題を抱えた家庭などの相談に対応するにあたって、社会福祉協議会や児童相談所など関係機関との情報共有や連携を図っている。	子育て福祉課 3	3
居住支援協議会については、令和5年3月の設立以来、空き家対策を中心に活動しており、住宅確保要配慮者に対し、空き家を含む住宅への円滑な入居の推進を図っている。令和6年度は固定資産税の納税通知書（約12,000通）に居住支援協議会のチラシを同封し、20件の相談があった。	まちづくり課 3	
02 住民が主体的に地域課題を解決できる環境づくり	担当課	達成度
町民誰もが参加できるボランティア活動や地域活動が社会福祉協議会にて実施された。また、地域での相互援助活動を活用したファミリー・サポート・センター事業を実施し、利用者への周知や提供会員のためのサポーター養成講座を開催し質の向上に努めた。	子育て福祉課 3	3
三世代交流事業を55地区で実施し、世代間の交流を図っている。	まちづくり課 3	
03 生活困窮者に対する包括的な支援	担当課	達成度
生活困窮者の相談については、佐賀県自立支援センター、鳥栖保健福祉事務所、社会福祉協議会との連携をとり、支援調整会議の開催により支援方法や方針を検討した。	子育て福祉課 3	3

【今後の方針】

01 総合的・分野横断的な支援の展開	担当課
今後も複合的な課題のある事案に対応するため、関係機関と連携して課題の解決に努める。	子育て福祉課
居住支援協議会が令和5年3月に設立した団体であるため、その活動内容等について、住民その他関係団体への周知が必要であり、チラシの配布、セミナーの開催等積極的に活動を行っていくこととしている。	まちづくり課
02 住民が主体的に地域課題を解決できる環境づくり	担当課
社会福祉協議会やボランティア連絡協議会を中心に、誰もが気軽に参加できる場を提供する。また、ファミリー・サポート・センター事業を継続実施することで、地域での子育て支援力をサポートし、仕事と育児や介護を両立する環境整備を図る。	子育て福祉課
今後も世代間交流のため、三世代交流事業を実施していく。	まちづくり課
03 生活困窮者に対する包括的な支援	担当課
自立支援センターを中心とし、鳥栖保健福祉事務所、社会福祉協議会などの関係機関と連携を取りながら自立を促す。	子育て福祉課

内部評価	評点	評価
	2.75	B

(4) 高齢者福祉

【政策分野の目標】

高齢者の健康づくりを推進するとともに、住み慣れた地域で安心して、幸せに生活できるまちを目指します。また、高齢になっても健康を維持し、充実した日々を送るため、社会参加や活動ができる自分の居場所を見つけ、いつまでも地域とつながりを持ち、社会（地域）参加できるまちを目指します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
14	認知症サポーター数	人	4,000	5,652	7,000	3

No.	成果指標の検証・課題
14	認知症サポーター、認知症キッズサポーターの養成を引き続き行っていく。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 地域包括ケア推進体制の強化	担当課	達成度
地域包括ケアシステムは、自助、互助、共助、公助からなるもので、生活支援体制整備事業において中学校単位の第2層協議体で、自助・互助の活動（買い物支援・買い物同行、見守り等）の支援を実施しました。共助・公助としては、あんま券、シルバーカーの補助、食の自立支援事業（弁当配達）、買い物支援実証事業を実施しました。	包括支援センター 3	3
02 高齢者による生涯現役・生涯活躍への支援	担当課	達成度
高齢者の社会参加の手段として、老人クラブへの活動支援や、各地区で介護予防のふれあいサロンの活動を支援を実施しました。サポーター養成では、レクレーション講座の開催やサポーター等の技術向上を目的とした研修会を実施しました。	包括支援センター 3	3
03 認知症の予防と共生	担当課	達成度
認知症予防としては、いきいき百歳体操、ものわすれ相談会、出前講座を実施しました。また認知症の共生として、チームオレンジ活動の拡充を図り、認知症サポーター養成講座や声かけ訓練、認知症カフェ等を実施しました。また、成年後見制度を活用し、制度利用が必要な方への相談・支援、町長申立てを実施しました。	包括支援センター 3	3
04 介護保険事業の推進	担当課	達成度
各種介護サービスの相談や申請の受付を実施しました。	包括支援センター 3	3

【今後の方針】

01 地域包括ケア推進体制の強化	担当課
住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる様、地域包括ケアシステムを引き続き推進していく。	包括支援センター
02 高齢者による生涯現役・生涯活躍への支援	担当課
元気な高齢者が要支援高齢者を支える仕組みを今後も構築していく。また、引き続き老人クラブや委託先の社協への活動支援を行っていく。	包括支援センター
03 認知症の予防と共生	担当課
今後、後期高齢者が増加していくことを踏まえ、より充実した施策の展開が必要となっている。重層的支援体制整備について今後検討していく。	包括支援センター
04 介護保険事業の推進	担当課
相談窓口の周知の推進を図っていく。	包括支援センター

内部評価	評点	評価
	3.00	B

(5) 障がい者福祉

【政策分野の目標】

障がいのある人とその家族が、安心して日常生活や社会生活を送ることができ、また、障がいのあるなしに関わらず、すべての住民が地域社会に参加できるまちを目指します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
15	相談支援事業利用件数	件/年	3,972	4,269	5,700	3

No.	成果指標の検証・課題
15	委託相談事業所が受けた相談人数は、R6年度は減少したが延べ件数は増加しており、相談内容が複雑化・複合化している。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 障がい福祉サービスの充実	担当課	達成度
相談支援においては、現在3事業所で総合・障がい児・精神のそれぞれの専門性を活かしながら重層的な相談体制をとり、障がいのある方への様々な支援を行った。 福祉サービスにおいては、新たに訪問入浴サービス事業を開始した。	子育て福祉課 4	4
02 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	担当課	達成度
鳥栖・三養基地域自立支援協議会の各部会において、障がい者の施設入所からの地域移行や就労に向けた支援などの協議を行い、自治体、事業所間で情報収集や意見交換を行った。 しかし、地域移行に必要な地域や家族の理解、支援方法の充実が課題となっている。	子育て福祉課 2	2
03 精神保健福祉事業の充実	担当課	達成度
精神障がい者に特化した委託相談事業所への相談件数は毎年増えており、住民への認知も広がっている。また地域の医療機関、教育機関とも連携した対応を行った。	子育て福祉課 3	3

【今後の方針】

01 障がい福祉サービスの充実	担当課
複雑化・複合化した相談に対し、関係機関と連携しチーム支援を行う。また、時代により変化する障がい者のニーズにあわせて必要とするサービス内容を検討する。	子育て福祉課

02 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	担当課
生活援助、地域移行支援、就労支援、地域生活支援などのサービスを通じて、障がい者の自立と社会参加を支援する。	子育て福祉課
03 精神保健福祉事業の充実	担当課
相談支援事業所の専門性が生かせるよう関係機関との連携をはかり、相談機関の周知を行う。	子育て福祉課

内部評価	評点	評価
	3.00	B

(6) 医療

【政策分野の目標】

誰もがいつでも医療が受けられるよう、関係機関と連携し、安心して暮らせるまちを目指します。また、国民健康保険や後期高齢者医療保険について、適切な運営を図っていきます。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
16	国民健康保険被保険者 一人当たりの医療費 (県平均を1.00とする)		1.24	1.21	1.00	3

No.	成果指標の検証・課題
16	微減となった。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 救急医療体制の充実	担当課	達成度
夜間や休日などの緊急時や災害などの非常事態に備え救急体制や救急医療を確保するため、一般社団法人鳥栖三養基医師会に在宅当番医制事業を委託し実施した。また、夜間のより充実した小児救急医療体制を地域全体で支援するため、久留米広域市町村事務組合と連携し、久留米広域小児救急支援事業を実施した。夜間、休日の急な病気等に多くの住民の利用があり、安心な緊急時の医療体制の確保が出来ている。	健康増進課 3	3
02 医療保険制度の適正運営	担当課	達成度
各地区で軽運動や健康教室を実施し、住民の健康に対する意識を高めることができている。後発医薬品の利用促進の個別通知や、重複・頻回受診者への訪問指導を行っている。	保健課 3	3

【今後の方針】

01 救急医療体制の充実	担当課
引き続き救急医療体制の充実のため関係機関と連携を行う。	健康増進課
02 医療保険制度の適正運営	担当課
今後も継続して地区健康教室を実施し、新たな参加者を募っていく。また疾病への予防指導も引き続き行うことで、医療費の適正化に努めていく。	保健課

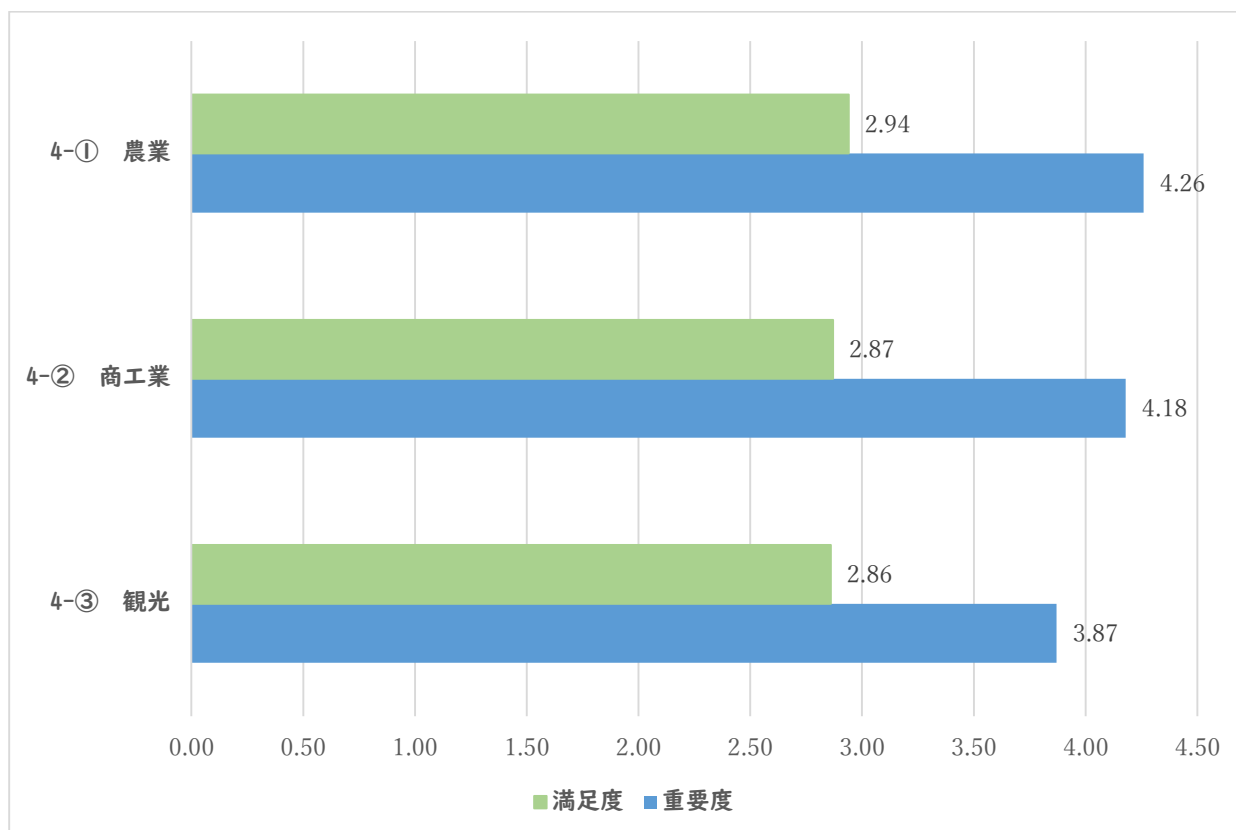
内部評価	評点	評価
	3.00	B

## 基本目標 4 暮らしを支える産業が伸びゆくまち

農業の活性化のため、新規就農者への支援、認定農業者や集落営農組織などの育成、農地の集積等を進めます。商工業の活性化のため、工業団地の開発、企業誘致等を進め、商工会や事業者と連携して、状況に合った適切な支援を行います。また、関係団体と連携しながら、新産業を創出できる環境を整えます。これらの取り組みを進め、雇用の確保に努めます。

また、住民がいつまでも「住み続けたい」と思えるようなまちづくりを進めるとともに、町の観光資源を磨き、その魅力を積極的に発信し、関係人口・交流人口を増やし、新たな賑わいの創出を目指します。

### ○町民アンケートによる満足度、重要度



	満足度	重要度
4-①農業	2.94	4.26
4-②商工業	2.87	4.18
4-③観光	2.86	3.87

どの項目も、満足度が平均よりも低くなっている。

(1) 農業

【政策分野の目標】

高収益な農業の実現のため、付加価値の高い作物へ転換できるよう環境を整備します。環境保全型農業への転換を促す一方で、農業用排水路、農業施設の維持管理・整備を図り、優良農地の保全に努めます。また、集落営農組織等を育成し、農地の集積を進めながら地域農業の生産性向上を図り、農業の担い手確保に努めます。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
17	高収益作物への転換	ha	17.8	29.2	22.8	4
18	認定農業者数	件	136	129	160	2

No.	成果指標の検証・課題
17	作付面積は増加してきている。
18	高齢化による認定農業者の減少が続いている。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 農業経営の多角化	担当課	達成度
<p>さが園芸 888 整備支援事業において新規就農者の町補助率を嵩上げを行ったものの、国の施策において水田活用交付金が交付されない事態となり高収益作物への転換が伸び悩んでいる。</p> <p>一方で、「やってみようセミナー」の開催から就農相談、新規就農につながる事例も増えてきており一定の成果があるものと認識している。</p>	農林課	3
	3	
	産業支援課	
令和6年5月にみやき上峰有機農業推進協議会を設立した。さらに、生産、流通・加工、消費の部会を設け、周知啓発のための講演会や町内小中学校や町営保育園、社会福祉協議会に農薬・化学肥料不使用米を寄贈し有機農業の推進活動のPRをした。	2	
学校給食に使用する米はすべて町内産のものを使用している。また、本町は全国オーガニック給食協議会に加盟しており、オーガニック食材を学校給食に可能な範囲で採用するよう努めている。これにより、農家が持続可能な農業経営を維持することに寄与する。	学校教育課	3
02 農業生産基盤の整備・拡充	担当課	達成度
<p>農道や農業用排水路の保全については、多面的機能支払交付金制度を活用し適正に実施された。また土地改良施設の維持管理についても必要な支援を行った。</p>	農林課	4
	4	

03 集落営農組織の育成強化	担当課	達成度
集落営農組織のさらなるコスト削減のための農業機械共同化など育成強化や法人化への移行が進まない状況である。集落営農組合のなかに組織を先導していくリーダー的人材の育成を図る必要がある。	農林課	2
	2	
04 農業の担い手の確保・育成、認定農業者の育成	担当課	達成度
農業の担い手については高齢化による減少傾向が続いており、地域の活性化のためにも育成・支援が不可欠である。 認定新規就農者については、補助事業の活用により毎年増加傾向である。	農林課	2
	2	

【今後の方針】

01 農業経営の多角化	担当課
補助事業についてホームページで周知を図る。また広域で実施されている「やってみようセミナー」の周知にも努め高収益作物への推進を図る。	農林課
令和7年4月に『オーガニックビレッジ宣言』を行っており、継続して周知活動や試験圃場を確保し、耕作面積や従事者を増加させたい。	産業支援課
継続して学校給食での地産地消、オーガニック給食を推進していく。	学校教育課
02 農業生産基盤の整備・拡充	担当課
土地改良区と連携して農村集落環境の適切な管理を行い、優良農地の確保・保全に努める。	農林課
03 集落営農組織の育成強化	担当課
集落営農組織の運営体制の強化を図るとともに、十分な話し合いのもとに法人化に向けた支援を実施していく。	農林課
04 農業の担い手の確保・育成、認定農業者の育成	担当課
将来にわたって地域の牽引者となる先進的かつ意欲的な農業経営者を育成するため、経営規模を拡大しながら経営体質の強化に努め、栽培技術や経営管理能力に優れた担い手の育成を図る。	農林課

内部評価	評点	評価
	2.83	B

(2) 商工業

【政策分野の目標】

商工会や事業者と連携して、経営者に対し適切な支援を行い、既存商業・サービス業の維持・向上を図りながら、住民生活の利便性と質の維持・向上を目指します。また、地域経済の活性化及び若年層の地元での雇用機会の増加を目的として、工業団地の造成を計画的に進めます。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
19	進出企業数	社	30	33	35	3
20	創業支援件数	件/年	5	5	5	3

No.	成果指標の検証・課題
19	大栄工業と進出協定を締結した。企業からの事業用地等へのニーズに対応するため、新たな工業団地の造成を行っていく。
20	創業に要する費用の一部を補助する創業支援事業を商工会が実施するように変更した。創業者の支援件数は、5件であり基準値及び目標値の5件を上回っている。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 地元商業・サービス業の振興	担当課	達成度
創業に要する費用の一部を補助する創業支援事業を商工会が実施するように変更した。 過年度に創業支援補助金を交付した事業者に創業後の経営状況等の報告を依頼し、現状把握を行った。	産業支援課 3	3
02 地元消費の推進	担当課	達成度
町内加盟店で使用できる地域通貨みやき pay 事業を継続して実施し、町内の消費喚起に取り組んだ。	産業支援課 3	3
03 工業団地開発の推進	担当課	達成度
令和4年度で実施した工場適地調査に基づき、第一候補としていた適地について工業団地開発に向け地権者説明及び関連機関との協議を実施した。	まちづくり課 2	2
04 企業誘致の推進	担当課	達成度
令和6年度において、株式会社大栄工業増設による進出協定を締結した。企業へ土地バンクの登録地を紹介しているが、適地が少なくニーズに対応できていない。	まちづくり課 2	2

05 新産業創出の環境づくり	担当課	達成度
中小企業の生産性の向上に向けた取組を促進するため、先端設備等導入計画の認定による設備投資支援に取り組んだ。商工会と商工業振興に関する意見交換会を開催したが、県・佐賀県産業振興機構等と連携して、企業支援をできる体制には至っていない。	産業支援課	2
	2	
06 伝統産業の活性化	担当課	達成度
「白石焼」をはじめとして、代々受け継がれてきた伝統産業の振興を図るための事業継続支援や観光施策との連携は実施できていない。	産業支援課	0
	0	

【今後の方針】

01 地元商業・サービス業の振興	担当課
創業に要する費用の一部を補助する創業支援事業を商工会と連携して継続して実施することにより、創業者の支援に取り組む。	産業支援課
02 地元消費の推進	担当課
町内加盟店で使用できる地域通貨みやき pay 事業を新規ポイント事業を実施し、町内の消費喚起に取り組む。	産業支援課
03 工業団地開発の推進	担当課
工業団地開発に向け、地権者及び地元へ丁寧な説明を行いながら、関連機関と適宜協議し、造成を行っていく。	まちづくり課
04 企業誘致の推進	担当課
工業団地開発に合わせ、積極的に企業等を訪問するなどアプローチを行い、企業誘致に努める。	まちづくり課
05 新産業創出の環境づくり	担当課
中小企業の生産性の向上に向けた取組を促進するため、先端設備等導入計画の認定による設備投資支援に取り組む。	産業支援課
06 伝統産業の活性化	担当課
事業継承を含む後継者の育成や観光施策との連携による知名度向上を目指す。	産業支援課

内部評価	評点	評価
	2.25	C

(3) 観光

【政策分野の目標】

住民がいつまでも「住み続けたい」と思えるようなまちづくりを進め、町への愛着を醸成するとともに、町の魅力を積極的に発信し、町外からは「行ってみたいまち」、「住んでみたいまち」として、みやき町のファンや交流人口や関係人口を増加させ、新たな賑わいの創出を目指します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
21	イベント来場者数	人/年	30,000	18,173	35,000	2
22	みやき町に愛着を感じている人の割合	%	74	79	84	3

No.	成果指標の検証
21	山田ひまわり園は開園期間中の天候に恵まれず入園者数が減少した。
22	アンケート結果では、「愛着を感じる」が38%、「どちらかといえば愛着を感じる」が42%となり、どちらも前年度調査より増加した。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01	タウンプロモーションの推進	担当課	達成度
	県内で開催された旅客業やマスメディア向けの商談会に参加し、町観光地等のPRを実施した。	産業支援課 3	3
02	観光、イベント、レクリエーションの取り組み	担当課	達成度
	SAGA2024 国スポ会場でのPRブースの設置や、町観光協会と協力して観光ガイド育成のための町内ガイドツアーを実施した。	産業支援課 3	3
03	交流の活性化を目指した観光PR・情報発信の推進	担当課	達成度
	みやき町観光協会 Instagramやホームページを活用し、町内の観光情報を積極的に発信した。Instagramのフォロワー数も順調に増加した。	産業支援課 3	3
04	観光資源の保全・活用	担当課	達成度
	地域の名木や景勝の保全活動に対して名木・景勝保全整備事業補助金を交付し、名木や景勝の保全活動に対する意識の高揚を図った。	産業支援課 3	3

05 公園・緑地や水辺環境の整備	担当課	達成度
町内のホテルの見ごろをホームページ等で情報発信し、駐車場の案内看板等を設置した。 寒水川山田水辺公園を地元地区へ管理を委託し、環境維持を行った。	産業支援課 3	3
住民の憩いの場、交流の場となる公園については適正な維持管理を実施した。 また地区住民主体の地区公園の管理・支援についても適正に取り組んだ。	農林課 3	

【今後の方針】

01 タウンプロモーションの推進	担当課
関東や関西圏で開催される商談会等に参加し、プロモーション活動を継続して行う。	産業支援課
02 観光、イベント、レクリエーションの取り組み	担当課
既存のイベントを継続しつつ、体験型のイベントの開催を検討する。	産業支援課
03 交流の活性化を目指した観光PR・情報発信の推進	担当課
ホームページやInstagram等のSNSを活用し、こまめに情報発信を行う。	産業支援課
04 観光資源の保全・活用	担当課
地域の名木や景勝の保全活動に対して名木・景勝保全整備事業補助金を交付し、名木や景勝の保全活動に対する意識の高揚を図る。	産業支援課
05 公園・緑地や水辺環境の整備	担当課
例年同様ホームページ等で周知する。	産業支援課
今後も住民に親しまれる公園となるよう維持管理や支援に取り組んでいく。	農林課

内部評価	評点	評価
	2.86	B

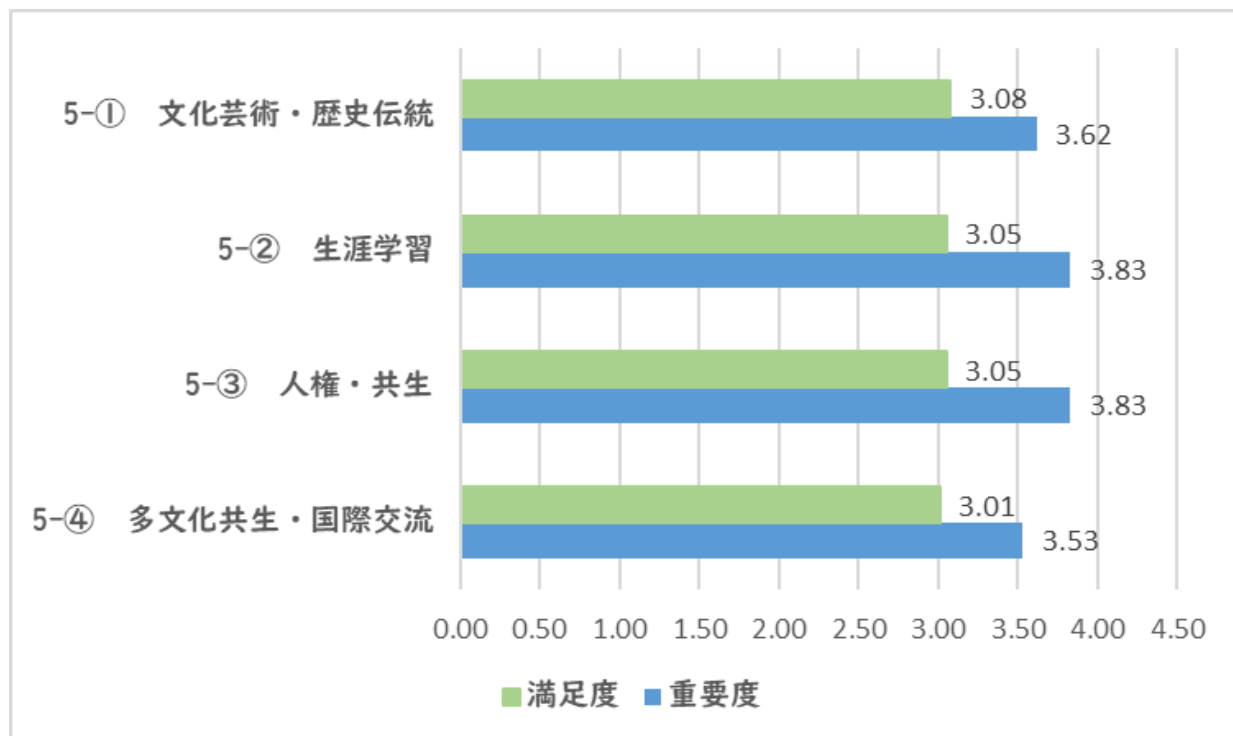
## 基本目標5 心豊かで多様性のあるまち

誰もが文化芸術に触れることができ、文化芸術活動に参加できる環境を整えます。郷土の文化と特色ある伝統に親しめ、それらを後世に引き継ぎ、誰もが郷土に誇りと愛着を持てるまちづくりを進めます。

そして、住民がライフステージに応じて学ぶことができ、それらが地域社会に還元される環境をつくることを通して、誰もがいつまでも元気で活躍できるまちを目指します。

また、誰もが差別されることなく、個々人の能力を十分に発揮できる多様性が尊重される寛容なまちを目指すとともに、多文化共生のまちづくりを進めます。

### ○町民アンケートによる満足度、重要度



	満足度	重要度
5-①文化芸術・歴史伝統	3.08	3.62
5-②生涯学習	3.05	3.83
5-③人権・共生	3.05	3.83
5-④多文化共生・国際交流	3.01	3.53

どの項目も、満足度、重要度ともに平均以下となっている。

(1) 文化芸術・歴史伝統

【政策分野の目標】

気軽に文化芸術活動に参加し、実践できる機会を創出することによって、豊かな心を育むまちを目指します。

住民が文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進め、住民による文化芸術の振興を推進します。

文化財や史跡、歴史・伝統文化等に接することができる機会をつくるとともに、伝承芸能等の歴史的文化財については、地域において適切な保存・継承ができるまちを目指します。

【成果指標とその達成状況】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
23	町重要無形民俗文化財 の登録数	件	2	2	7	2
24	伝統文化参加者数	人/年	450	450	500	2

No.	成果指標の検証・課題
23	現状維持となっている。
24	現状維持となっている。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 文化芸術活動の育成	担当課	達成度
みやき町文化連盟との連携・協力により町民の文化芸術活動への参加推進を図っている。活動の担い手の高齢化が進んでおり、後継者の育成やそのための支援のあり方検討する必要がある。	社会教育課	2
	2	
02 歴史・伝統文化の継承への支援	担当課	達成度
伝統文化・芸能への支援として、みやき町伝統文化保存協会に補助金を支出し、財政の援助を行っている。どの団体も地区の少子高齢化により後継者の減少に悩まされており、伝統文化・芸能の小規模化及び開催自体が危ぶまれている。開催地区だけでなく持ち回り地区全体での開催が実施できるよう助言、提案等おこなっている。	社会教育課	2
	3	
観光ボランティアガイド育成のために町内観光ガイドツアーを実施した。	産業支援課	2
	2	

03 歴史資料の保存・有効活用	担当課	達成度
発掘調査で得た遺物や収集できた遺物をこすもす館で展示しており、町の歴史、文化を知る機会を提供している。	社会教育課	3
	3	
04 文化を守る意識の醸成	担当課	達成度
町内での埋蔵文化財発掘調査の成果やみやき町の歴史等を広く周知する機会として、歴史講座を開催している。参加者からはおおむね良好な評価を得ており、みやき町の文化財保護に対する意識は高まっている。	社会教育課	2
	3	
フットパスマップを追加で印刷し配布した。	産業支援課	2
	2	

【今後の方針】

01 文化芸術活動の育成	担当課
みやき町文化連盟との連携・協力関係を維持し、文化活動を担う後継者育成の支援を行っていく。	社会教育課
02 歴史・伝統文化の継承への支援	担当課
少子高齢化による担い手不足のため開催が危ぶまれる伝統文化・芸能の保存、継承を、持ち回り地区だけでなく開催地区全体での統合開催について協議をおこなっていく。また財政的支援を継続していく。	社会教育課
既存の観光ボランティアガイドや新規希望者への研修など、育成を行う。	産業支援課
03 歴史資料の保存・有効活用	担当課
今後は、展示内容の見直しを定期的、多岐的に行っていく、より広く、より身近に文化財を感じてもらうため周知を行っていく。	社会教育課
04 文化を守る意識の醸成	担当課
歴史講座だけでなく、町の広報誌やHPを活用し、より町の文化財に深い見識と、文化財保護意識の醸成を高めていく。	社会教育課
フットパスマップを活用し、情報発信を行う。	産業支援課

内部評価	評点	評価
	2.17	C

## (2) 生涯学習

### 【政策分野の目標】

住民が生涯を通じて主体的に学習機会を選択して学び、その成果を社会に活かしていくことができるまちを目指します。誰もが学びを楽しめ、その学びが地域づくりに反映されるよう、生涯学習環境を整備します。

### 【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
25	教室・講座種類数	講座	8	11	10	4
26	教室・講座の受講者数	人/年	470	1,148	650	4

No.	成果指標の検証・課題
25	教室・講座数については目標達成できたが例年とあまり変わらない内容のため、新規の教室・講座をもっと増やしていく必要がある。
26	受講者数は昨年度の500人から大幅に増加しており、このまま継続できれば目標値の上方修正が必要。

### 【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 生涯学習の体制整備	担当課	達成度
教室・講座の企画にあたっては受講者アンケート等によりニーズの把握に努めており、実施後の満足度も概ね期待どおりの成果をあげることができている。高齢者の生きがいづくりや学びの支援を充実させる一方で、若い世代向けの教室・講座の企画が課題である。	社会教育課	3
	3	
02 生涯学習施設の適切な維持管理	担当課	達成度
施設の維持管理については計画どおりに実施できている。全体的に社会教育施設の老朽化が進んでおり、計画的な改修が必要である。	社会教育課	4
	4	

### 【今後の方針】

01 生涯学習の体制整備	担当課
教室・講座の企画については引き続きアンケート等によりニーズの把握に努め、魅力ある講座づくりを目指す。教室・講座の周知方法を工夫し、新規受講者の獲得を進める。また、歴史講座の受講者に対し、興味がある人については、ボランティア登録を促していく。	社会教育課
02 生涯学習施設の適切な維持管理	担当課
日常の点検を徹底するとともに、施設の改修については優先順位を定め、計画的に修繕、工事を進める。	社会教育課

内部評価	評点	評価
	3.75	A

(3) 人権・共生

【政策分野の目標】

あらゆる差別や偏見がなく、誰もが属性ではなく個人として認められ、多様性が尊重される寛容なまちを目指します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
27	審議会等における 女性委員の割合	%	18.6	17.1	30	2

No.	成果指標の検証・課題
27	男女問わず成手不足が現状であり、意識向上には継続的な啓蒙活動が必要。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 人権教育・啓発の推進	担当課	達成度
人権相談事業の実施。	住民環境課	3
	3	
町民の人権意識の向上のために、講演会や人権講座を開催した。	社会教育課	3
	3	
02 男女共同参画社会の推進	担当課	達成度
町内の小学校で「ふれあいコンサート」を実施、町立図書館にて『男女共同参画週間』に関連図書を集めたコーナーを展開するなど、男女共同参画に関する情報発信をしている。また職員においても県主催の主管課長会議、担当職員研修に参加し、先進自治体の事例や最新情報などを参考にしながら、職員向け掲示板での周知・案内を行いながら男女共同参画社会の推進に努めている。	情報未来課	3
	3	
03 多様性が尊重されるまちづくり	担当課	達成度
パートナーシップ制度の広報啓発を行っているが、認知度は高くない。	住民環境課	2
	2	

【今後の方針】

01 人権教育・啓発の推進	担当課
人権相談事業の実施。	住民環境課
町民の人権意識のさらなる向上を目指して、講演会や各種講座を開催する。	社会教育課

02 男女共同参画社会の推進	担当課
関係各課と連携し、職員の意識を高めるための啓蒙活動を行っていく。また、『男女共同参画週間』に併せて、住民に向けて「より良い社会をつくるために男女の別なく、お互いを理解し協力していく」という男女共同参画社会の概念を発信していく。	情報未来課
03 多様性が尊重されるまちづくり	担当課
パートナーシップ制度の広報啓発を継続して行う。	住民環境課

内部評価	評点	評価
	2.50	B

(4) 多文化共生・国際交流

【政策分野の目標】

国籍に関係なく誰もが心豊かに暮らせるよう、日本人住民と様々な文化を持つ外国人住民がお互いを理解し合い、支え合える多文化共生のまちづくりを進めるとともに、国際感覚がある国際人を育て、民間の国際交流団体の活動を支援する等、成人の国際交流事業を推進し、本町の国際化を目指します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
28	各種教室・交流会の開催	回/年	13	12	16	2

No.	成果指標の検証・課題
28	開催内容の改善と合わせ開催数の増に向け検討する。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 多文化共生社会の推進	担当課	達成度
町が主催している日本語教室において、ボランティアとして住民や地域の地元高校生も参加し、開催している。	まちづくり課	3
	3	
02 国際感覚あふれる人づくりのための交流の推進	担当課	達成度
みやき町国際交流会において、外国人との交流活動をおこなっている。	まちづくり課	3
	3	

【今後の方針】

01 多文化共生社会の推進	担当課
町内に居住している外国人と交流する機会を創出し、地域住民や地元の高校生等の参加を促していく。	まちづくり課
02 国際感覚あふれる人づくりのための交流の推進	担当課
みやき町国際交流会との連携を強化する。	まちづくり課

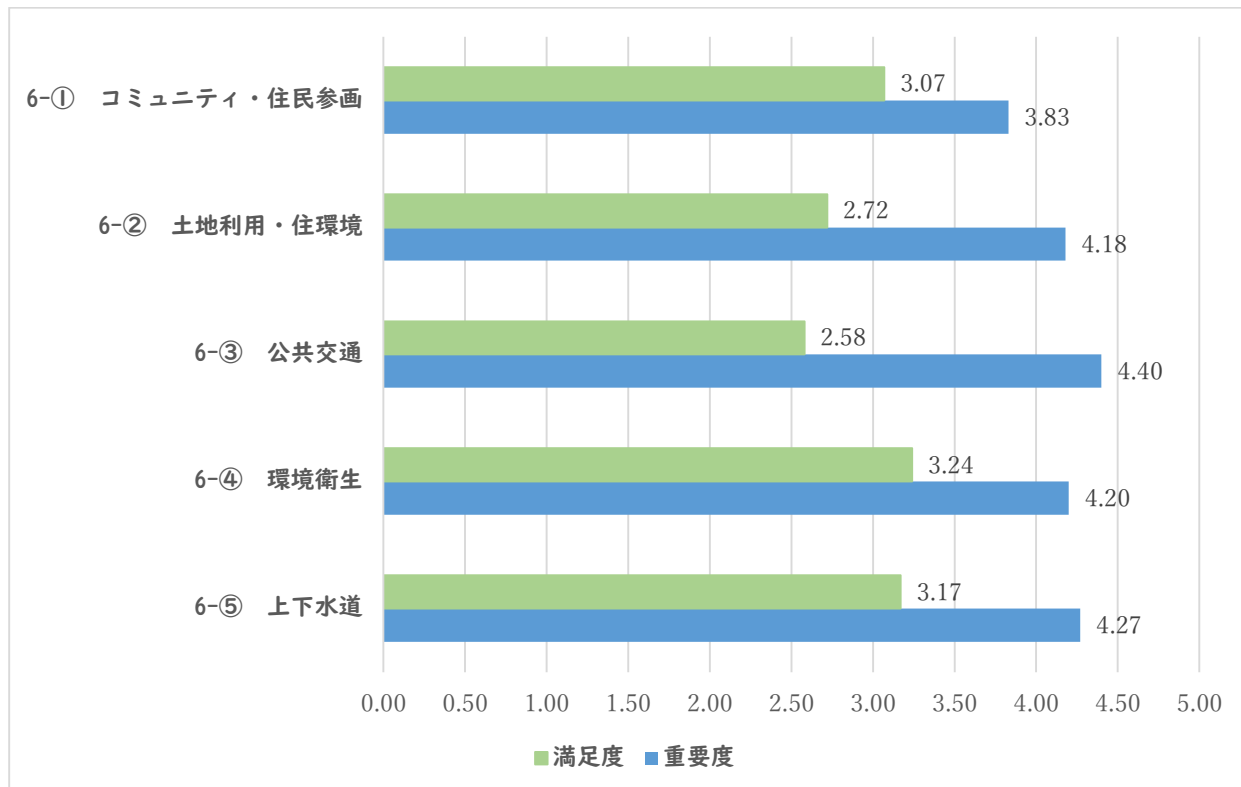
内部評価	評点	評価
	2.67	B

## 基本目標6 活力にあふれた多様な交流がうまれるまち

様々な場面で住民参画を進めます。行政施策に住民の声を反映させることを通じて「共感」「協働」の住み良いまちづくりを進めていきます。

自然環境や優良農地の保全に努め、開発との均衡を図りながら、効率的な土地利用を進めます。移住・定住がしやすいまちを目指し、民間の宅地開発を誘導し、利活用が可能な空き家の登録を促進します。また、利便性の高い道路・交通環境の整備、上下水道の整備、環境保全などを進めることを通じて、誰もが住みたくなるまちを目指します。

### ○町民アンケートによる満足度、重要度



	満足度	重要度
6-①コミュニティ・住民参画	3.07	3.83
6-②土地利用・住環境	2.72	4.18
6-③公共交通	2.58	4.40
6-④環境衛生	3.24	4.20
6-⑤上下水道	3.17	4.27

ほとんどの項目で、重要度は高くなっている。

満足度は、住民の生活に直結している分野について、「6-⑤上下水道」は高くなっているが、「6-③公共交通」は低くなっている。公共交通は満足度と重要度の乖離が大きくなっている項目である。

(1) コミュニティ・住民参画

【政策分野の目標】

住み良いまちづくりを進めていくためには、住民目線に立った取り組みが必要となります。様々な場面で住民参画を進めることを通じ、行政施策に住民の声を反映させ、「共感」「協働」のまちづくりを実現していきます。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
29	タウンミーティング開催数	回/年	—	0	10	1

No.	成果指標の検証
29	広報みやきやホームページで周知を行ったが、開催数は伸び悩んでいる。こちらから町内団体等へタウンミーティングの実施を呼びかけていく。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01	住民がまちづくりに参画しやすい環境整備	担当課	達成度
	県のCSO・企業提案型協働創出事業に参加し、県民協働による事業の創出について、事業の提案団体と情報の共有を行った。 1事業採択している。	産業支援課 4	4
02	政策形成過程への住民参画機会の拡充	担当課	達成度
	申込者との日程が合わず、タウンミーティングの開催数は0回だった。やり方の変更が必要。	総務課 1	1
03	広報活動の充実と適正な行政情報の公開	担当課	達成度
	住民の「共感」を得るための取り組みとして、みやきプラスを広報みやきやホームページに掲載し、SNSでも周知した。町長、副町長、幹部級職員の町政に対する想いを発信している。	総務課 3	3
	新たにLINEの機能拡張を行い、細やかな情報発信ができる仕組みを構築した。 また、広報のデジタル化により、目に不自由がある方のための音声読み上げや日本語を母国としない方向けの多言語翻訳に対応している。 また、GISを活用してオープンデータの取組みも進めている。	情報未来課 3	

【今後の方針】

01 住民がまちづくりに参画しやすい環境整備	担当課
県のCSO・企業提案型協働創出事業に参加し、県民協働による事業の創出を図る。	産業支援課
02 政策形成過程への住民参画機会の拡充	担当課
タウンミーティングは、対象者、開催方法について検討を行い、開催しやすい環境を整備する。	総務課
03 広報活動の充実と適正な行政情報の公開	担当課
今後も継続し、広報みやきやホームページに月1回掲載する。また、SNSを活用した積極的な広報に取り組む。	総務課
LINEを情報発信だけでなく、様々な業務において活用を進め、住民コミュニケーションの向上を進めていく。 また、オープンデータの取組みを進め、地図情報だけでなく、様々な行政情報の積極的な公開を進めていく。	情報未来課

内部評価	評点	評価
	2.25	C

(2) 土地利用・住環境

【政策分野の目標】

良好な都市機能や都市環境の形成を進め、活力と魅力があり、都市と自然の調和を保ちながら、すべての世代が快適で暮らしやすいまちを目指します。道路の整備、景観の整備を進めるとともに、周辺の環境に配慮しながら、民間の宅地開発を誘導する制度を構築し、利活用が可能な空き家の登録を促進する等、移住・定住がしやすいまちを目指します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
30	住み続けたいと思っている 住民の割合	%	78	88	88	4

No.	成果指標の検証
30	アンケート結果では「住み続ける」が55.82%、「おそらく住み続ける」が32.54%、年代別では、20代、10代での「わからない」、「おそらく町外へ引っ越す」の回答が若干多くなっている。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01	道路整備によるまちづくり	担当課	達成度
	国・県道は各期成会等にて、町道及び橋りょうは個別施設計画や定期点検にて順次整備を行った。特に久留米市につながる道路整備については、直接の訪問や基幹道路に関する資料にて関係機関への提案を行った。	建設課 3	3
02	景観まちづくりの推進	担当課	達成度
	景観まちづくりシンポジウムやワークショップ等を開催し、町民の景観まちづくりへの理解や意欲向上を図った。	産業支援課 2	2
03	効率的な土地利用の推進	担当課	達成度
	国土利用計画法に基づき、土地取引の規模に応じて適切に届出がされているかを調査し、違反している事業者には届出を行うように促すとともに県を通じて適切に指導を行った。	総務課 3	3
04	国土調査事業の推進	担当課	達成度
	山間部における国土調査推進のため、リモートセンシング技術を用いた国土調査を実施した。	防災安全課 3	3
05	民間との連携による住宅開発の促進	担当課	達成度
	配水管布設整備事業費補助金がR5年度で終了しており、現在宅地開発における連携事業の実施はない状況となっているため、新たな事業実施が必要。	まちづくり課 0	0

06 空き家対策の推進	担当課	達成度
空き家については、年々件数が増加しており、空き家所有者に対し、空き家バンクや補助金等を活用した解体等について、周知を図っている。危険空き家は補助金を活用し、令和6年度は2件の解体を実施した。	まちづくり課	3
	3	

【今後の方針】

01 道路整備によるまちづくり	担当課
町道については、各種の計画並びに地区要望による適正な維持管理、国・県道については、期成会による要望活動を継続する。久留米市につながる道路整備については、関係者等の理解を得るため更なる要望活動を推進する。	建設課
02 景観まちづくりの推進	担当課
景観条例の制定に向けて、町民の景観まちづくりへの理解や意欲向上を図る。	産業支援課
03 効率的な土地利用の推進	担当課
令和7年度から都市計画マスタープラン改訂及び立地適正化計画策定業務を行い、効率的な土地利用や施設等の誘導方針等を示す。	総務課
04 国土調査事業の推進	担当課
調査対象地域の現状に沿った手法を用いながら、効率性と安全性を確保した国土調査を行うよう努める。	防災安全課
05 民間との連携による住宅開発の促進	担当課
空き家や空き地等及び過疎地域を解消するような宅地開発を推進するための事業施策を検討していく。	まちづくり課
06 空き家対策の推進	担当課
空き家については、全国的にも今後増加することが想定されているため、危険な空き家については補助金等を活用し解体を促し、また、活用可能な空き家については、空き家バンクや居住支援協議会等と協働し、売却や賃貸を推進する。	まちづくり課

内部評価	評点	評価
	2.57	B

### (3) 公共交通

#### 【政策分野の目標】

多くの人の交流を可能とし、住民の暮らしを支えている地域公共交通の維持確保に努め、住民の移動手段の確保、利便性向上を目指します。

#### 【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
31	中原駅利用者数	人	1,954	2,138	2,500	3

No.	成果指標の検証・課題
31	これまで乗降者数を確認していたが、JRからの公表が乗車人数のみとなったため、今年度からは「乗車人数×2」で乗降者数を算出することとした。

#### 【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 公共交通の維持・確保、駅の利便性の向上	担当課	達成度
中原駅の利用者の安全性・利便性を確保するため、駅員の常駐及び駅のバリアフリー化についてはJR九州への要望活動を実施している。しかしながら、進捗としては進んでいない状況である。	まちづくり課 2	2
02 町内の交流を促す交通手段の検討	担当課	達成度
コミュニティバス路線の改善はデマンド方式を検討するなど行っていく。外出支援タクシーは利用者が増加しており、高齢者等の利便性の向上に寄与しているが、利用者増に伴い、時間帯によってタクシー不足も生じている。	まちづくり課 3	3
在宅の重度心身障害者に対し、日常生活圏の拡大及び社会参加の促進を図る為、福祉タクシー利用券の交付を実施した。	子育て福祉課 3	

#### 【今後の方針】

01 公共交通の維持・確保、駅の利便性の向上	担当課
今後はバリアフリー基本構想の検討を行い、中原駅のバリアフリー化を推進していく。また、西鉄バスの江見線については、県や沿線自治体と協議を行っていく。	まちづくり課
02 町内の交流を促す交通手段の検討	担当課
コミュニティバス路線は効果的、効率的な運行を目指し、デマンド方式を検討していく。 外出支援タクシーは今後も利用者増加が想定されるため、利用方法や利用事業者等を改善していく必要がある。	まちづくり課
今後も地域交流の促進を図る為、対象者へ福祉タクシー利用券の交付を行う。	子育て福祉課

---

	評点	評価
内部評価	2.67	B

(4) 環境衛生

【政策分野の目標】

住民や事業者等の環境に関する意識を高め、ごみの適正な排出と減量化を進め、資源の有効活用を進めます。

住民一人ひとりの地球温暖化対策への理解を促し、家庭や職場で温室効果ガス排出量を極力減らします。また、水と緑があふれるきれいな町が保たれるよう、住民参加による美化活動を推進します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R8)	達成度
32	「2050年ゼロカーボンシティ」宣言に向けた計画策定		—	一部着手	策定	2

No.	成果指標の検証・課題
32	環境基本計画の策定に関する検討を行っている。職員で継続できるような運用方法を模索する必要がある。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 循環型社会への移行	担当課	達成度
取組) 生ごみ処理器補助実績 8基、分別関連 広報 7回掲載 成果) リサイクル率 6.0% (3月末時点) 課題) 転入者の方への分別種別や収集場所の周知が行き届いていない	住民環境課 3	3
02 自然環境保全の推進	担当課	達成度
景観計画を紹介した「みやき町景観計画紹介映像」を町のホームページで公開し、景観計画の広報に努めた。	産業支援課 2	2
03 環境美化活動の推進	担当課	達成度
取組) ①行政主催の美化活動 ②不法投棄防止看板の供与 ③空き地の適正管理 成果) ①県下一斉ふるさと美化活動 2,528人、ふるさとクリーン作戦(雨天中止) ②看板供与数 14枚(4地区)、③空き地適正管理通知件数 25件(3月末時点) 課題) 空き地適正管理通知は、送付することによりその時期が来て所有者が対応する認識になってしまっている。	住民環境課 4	4

04 公害防止対策の推進	担当課	達成度
取組) 苦情相談件数 6件(悪臭・騒音・振動関係 3月末時点) 成果) 現地確認を行った結果、公害と認められるものはなかった。 課題) 現状の苦情は、事業活動と周辺住民とのトラブルによるものが多いが、事前に把握することが困難。	住民環境課 4	3
進出企業については環境保全協定を締結し、公害防止対策を図っている。	まちづくり課 3	

【今後の方針】

01 循環型社会への移行	担当課
リサイクルデーでの不用品の再利用化及び再資源化を推進する。 また、分別方法・収集場所の周知方法の検討	住民環境課
02 自然環境保全の推進	担当課
景観条例の制定に向けて、景観計画の内容を精査し改定を行う。	産業支援課
03 環境美化活動の推進	担当課
継続して実施していくことにより町民の美化活動意識の向上を図る。	住民環境課
04 公害防止対策の推進	担当課
現状のとおり相談により把握で対応。ただし、現状の相談をリスト化し苦情が発生しやすい地域を把握する。	住民環境課
今後においても、企業誘致等により進出企業があった場合においては、環境保全協定を締結し、公害防止対策を推進していく。	まちづくり課

内部評価	評点	評価
	2.80	B

(5) 上下水道

【政策分野の目標】

衛生的で快適な生活環境や企業の経済活動を支えるとともに、河川を水質汚濁等から守ります。住民が快適で安心な生活環境で過ごすことができるまちを目指します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
33	汚水処理普及率	%	80.9	84.0	92.5	3

No.	成果指標の検証
33	R4:81.5%、R5:82.5%、R6:84.0% 下水道事業の進捗により河川・水路等の汚濁改善が期待どおり図られている。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01	下水道事業の推進	担当課	達成度
	R6年度の下水道事業において11.3haの面整備を行い、下水道処理区域の拡大を図ったことにより、下水道整備率が72.0%となった。 また、処理区域内の水洗化率が85.1%となり、事業の成果が表れている。	下水道課 3	3
02	浄化槽設置の促進	担当課	達成度
	市町型浄化槽の設置基数は、R4:60基、R5:68基、R6:77基となり、市町型浄化槽の整備率54.5%、既存浄化槽受納率95.5%、全体で66.9%となった。	下水道課 2	2
03	し尿・浄化槽汚泥の適切な処理の推進	担当課	達成度
	市町型浄化槽については、PFI事業により維持管理業者による適切な処理を行っている。 また、法定検査において指摘のあった浄化槽については、維持管理業者により使用者へ改善を促している。	下水道課 4	4
	し尿・浄化槽汚泥の処理については、三神地区環境事務組合（一部事務組合）で実施のため達成度の記載は行わない。	住民環境課	
04	上水道の安定供給	担当課	達成度
	給水普及率 R5:90.6% R6:91.2% 上水道については、佐賀東部水道企業団で実施のため現状の普及率の記載のみで達成度の記載は行わない。	住民環境課	

【今後の方針】

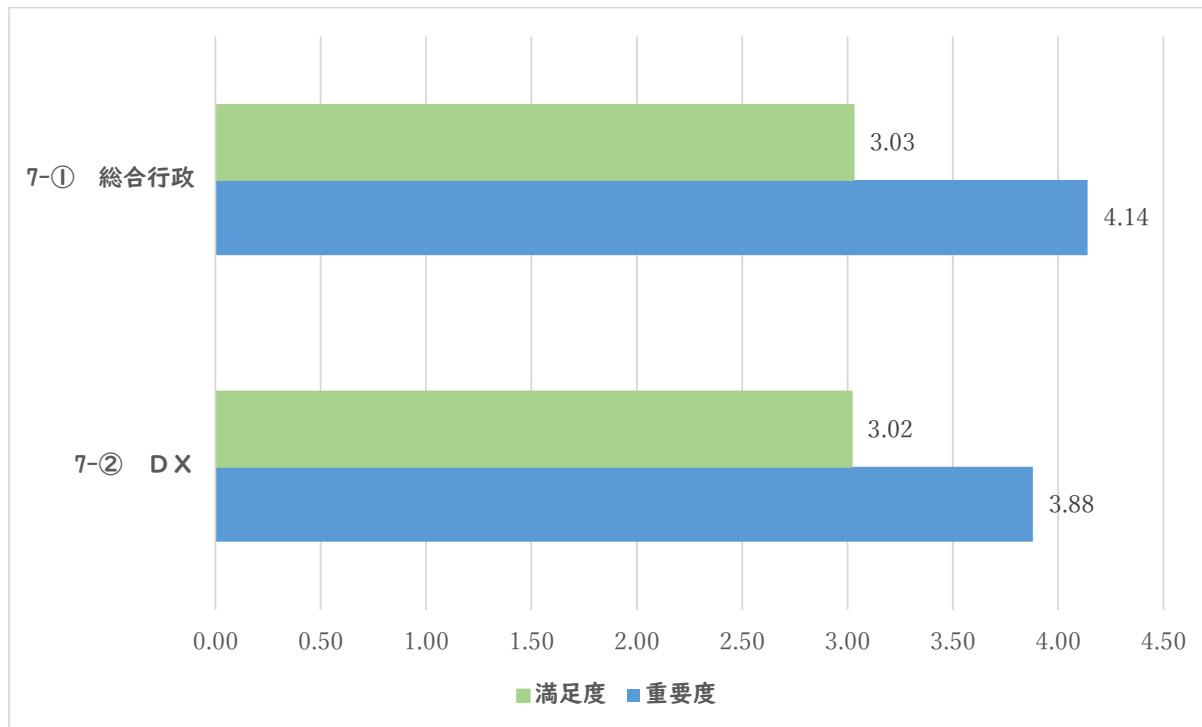
01 下水道事業の推進	担当課
第4次下水道計画認可区域（最終）の拡大により、下水道整備事業も最終段階を迎えているが、目標達成のためには、職員の増員を図り集中的な事業進捗を推進する必要がある。	下水道課
02 浄化槽設置の促進	担当課
市町型浄化槽設置事業については、新規住宅開発により、新築の設置促進が図られているが、既存槽においても合併浄化槽切替促進に努めていく必要がある。	下水道課
03 し尿・浄化槽汚泥の適切な処理の推進	担当課
浄化槽汚泥は適切に処理されており、今後においても維持管理業者と情報を共有し、適切な処理を行っていく。	下水道課
三神地区環境事務組合（一部事務組合）の中で、今後も適切な処理の運営を行っていく。	住民環境課
04 上水道の安定供給	担当課
佐賀東部水道企業団の中で安定供給のための運営を行っていく。	住民環境課

内部評価	評点	評価
	3.00	B

## 基本目標 7 計画推進のために

事業・組織の見直しなどによる行財政運営の健全化、職員の能力・資質の向上などにより、多様な住民ニーズに対応できる住民サービスを提供し、住民の暮らしの満足度を向上させます。また、町全体で DX を推進することで、住民が快適で質の高い生活を送ることのできるまちを目指します。

### ○町民アンケートによる満足度



	満足度	重要度
7-①総合行政	3.03	4.14
7-②DX	3.02	3.88

「7-②DX」は、満足度、重要度ともに平均より低くなっている。

(1) 総合行政

【政策分野の目標】

住民が「みやき町に住んで良かった」と感じる事ができ、充実した日々を送ることができるよう、住民の視点に立ったサービス提供を総合的に推進し、役場がその名のとおり、住民の役に立つ場となることを目指します。そのために、自主財源の確保、行財政の合理化、効率化等を進めるとともに、町にある資源を最大限有効に活用します。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
34	財政力指数	—	0.419	0.417	0.5	2

No.	成果指標の検証・課題
34	R4年度：0.417（基準財政収入額 2,897,223 千円 ÷ 基準財政需要額 6,949,434 千円） R5年度：0.415（基準財政収入額 2,979,684 千円 ÷ 基準財政需要額 7,174,485 千円） R6年度：0.420（基準財政収入額 3,086,783 千円 ÷ 基準財政需要額 7,352,725 千円） 上記平均：0.417

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 健全な財政運営の推進	担当課	達成度
<p>事業の目的や必要性を再検証した上で、原則ゼロシーリングでの予算編成を行い、経費削減を図った。併せて、基金繰入額の縮減を図るとともに、将来的な財源確保のための基金積立を行った。今後は基金繰入に依存した財政運営の更なる改善が必要と考えている。</p> <p>未収債権の積極的な回収について 町税の収納率の目標値：98.12% R6年度の見込値：97.54%</p> <p>第二次みやき町行政改革大綱における行政改革の重点施策に係る指標に掲げる事業を実施した。</p>	財政課	3
	3	
	税務課	
	2	
	総務課	
	3	
02 公有財産の最適な維持管理	担当課	達成度
<p>令和5年度に未利用財産売却のため公募を行ったが応募がなく、HPにて先着順で募集を実施しているものの、売却には至っていない。</p>	財政課	2
	2	
03 公営住宅の適切な維持管理	担当課	達成度
<p>公営住宅について公営住宅長寿命化計画に基づき、町営第2北浦団地A棟およびB棟の外部改修工事を行った。このほか、各団地の不具合等について適宜修繕を実施した。また、町営住宅の各種設備の保守等については、昨年度に引き続き町営住宅指定管理者により、適切な維持管理を行った。</p>	建設課	3
	3	

04 効率的な行政運営の推進	担当課	達成度
<p>適正な人員配置・組織づくりについては、各課ヒアリングにて状況把握し人員を配置、機構改革による情勢変化に対応する組織を編成した。</p> <p>人材育成については、R4年度に作成した人事評価制度運用マニュアルをもとに職員研修を実施し、制度の定着を図った。佐賀県市町村振興協会主催研修への職員の参加の促進を図った。</p>	総務課	3
	3	

【今後の方針】

01 健全な財政運営の推進	担当課
<p>基金繰入に依存した財政運営を改善するため、収入の範囲内での予算編成に取り組んでいく。</p> <p>また、基金を長期的に財源として有効活用するため、繰入額を段階的に縮減するとともに、将来に備えた計画的な積立を行う。</p>	財政課
未収債権の積極的な回収について少額滞納者及び新規滞納者への滞納処分を早期に実施する法に則った滞納整理の徹底を図る。	税務課
第二次みやき町行政改革大綱に基づき、効率的で効果的な行政運営を実行していく。	総務課
02 公有財産の最適な維持管理	担当課
未利用財産検討委員会を開催し、管理の方向性を打ち出し、管理コストの縮減を図る。	財政課
03 公営住宅の適切な維持管理	担当課
公営住宅長寿命化計画に基づき、また、指定管理者と連携して進めていく。	建設課
04 効率的な行政運営の推進	担当課
評価者、被評価者間での透明性の高い人事評価を行い、職員のモチベーションを向上させるとともに、研修を充実することで人材育成につなげる。	総務課

内部評価	評点	評価
	2.60	B

(2) DX (デジタル・トランスフォーメーション)

【政策分野の目標】

町全体で DX を推進することで、誰もが快適で質の高い生活を送ることのできるまちを目指します。

行政サービスについては、デジタル技術やデータを活用し、住民の利便性を向上させるとともに、行政の業務効率化を図ることで人的資源を更なるサービスの向上につなげていきます。さらに、地域の暮らしや産業を支えるあらゆる分野の取り組みにおけるデジタル化を推進し、新たな価値の創出につなげていきます。

【成果指標】

No.	成果指標	単位	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R14)	達成度
35	住民サービスのデジタル化に満足している割合	%	—	53	80	2

No.	成果指標の検証
35	サービス全体のアンケートは実施未。LINE の機能拡張及びデジタル広報についてアンケートを実施し、それぞれ5段階の平均が、LINE (3.4)、デジタル広報 (3.5) となり、各事業における KPI は達成している状況。今後アンケート結果を踏まえ、各サービスの改善及び活用を進めていくとともに、住民が利便性を実感できる新たなサービスを継続して導入していく。

【基本施策の取組状況・成果・課題】

01 「みやき町 DX」 推進のための仕組みづくり	担当課	達成度
令和4年度にみやき町 DX 推進計画を策定し、令和5年度にアクションプランを策定、毎年2回のみやき町 DX 推進本部会議を開催している。令和6年度には、DX 人材育成プランを策定し、DX 人材の育成にも取り組んでいる。	情報未来課	4
	4	
02 住民サービスの向上・行政業務の効率化 (行政の DX)	担当課	達成度
GIS や業務用チャットツール、生成 AI などの業務効率化につながるツールを導入するとともに、特定業務において BPR を実施し、業務効率化を進めている。その他基幹システムの標準化についても、着実に対応を進めている。	情報未来課	2
	3	
マイナンバーカードの交付率が 83.5% (12月末現在) に達した。これを受け当 HP では、オンライン行政手続きの利便性をより多くの方に実感してもらうため、「マイナポータル」の利活用推進に関する情報を掲載した。	住民環境課	2
	2	

03 地域のDX推進（暮らし・産業のDX）	担当課	達成度
<p>集団健診の予約やイベントの参加申し込みをオンライン化するなど、町と住民間のコミュニケーション向上を目的にLINEの機能拡張を行った。</p> <p>また、広報デジタルツールを導入し、音声読み上げや多言語対応を行い、公平な情報提供ができる仕組み作りを行った。</p>	情報未来課	3
	3	

【今後の方針】

01 「みやき町DX」推進のための仕組みづくり	担当課
引き続き、年2回のDX推進本部会議を開催し、様々なDX施策を実行に移していくとともに、そのために部署横断的なプロジェクトチームを形成、DX人材の育成を進め、更なるDX施策の加速を図っていく。	情報未来課
02 住民サービスの向上・行政業務の効率化（行政のDX）	担当課
既存のデジタルツールを最大限に活用しながら、特に業務効率化が図れると想定される業務を設定し、BPR(業務の根本的な改善)を行い、内部業務の効率化を図るとともに、リソースを住民サービス向上にシフトしていく。	情報未来課
マイナンバーカードの普及促進及びマイナポータル利活用の推進を図る。また、マイナポータル利活用プロジェクトチーム会議を開催して、マイナぴったりサービスの利活用を推進する。	住民環境課
03 地域のDX推進（暮らし・産業のDX）	担当課
みやきpayを活用したポイント施策や住民にとって便利な窓口、防災情報の発信強化、LINEの更なる活用を進めていく。 加えて、その他の分野においてもデジタル技術の導入による新たなサービス導入の可能性を模索し、その実現に向けて推進していく。	情報未来課

内部評価	評点	評価
	2.75	B